

Power Systems

*ESLL* または *ESLS* ストレージ・エンクロ  
ージャーの取り付け



## ノート

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、v ページの『安全上の注意』、45 ページの『特記事項』、「*IBM* システムの安全上の注意」資料、G229-1110 および G229-9054、および「*IBM* 環境に関する注意事項およびユーザーズ・ガイド」Z125-5823 に記載されている情報をお読みください。

本書は、Power10 プロセッサを搭載した *IBM*® Power® サーバーおよびすべての関連モデルに適用されます。

© Copyright International Business Machines Corporation 2018, 2022.

# 目次

<b>安全上の注意.....</b>	<b>V</b>
<b>ESLS ストレージ・エンクロージャーの取り付け.....</b>	<b>1</b>
ESLS ストレージ・エンクロージャー を取り付ける準備.....	1
ESLS ストレージ・エンクロージャーの在庫の記入.....	2
ラック内の位置の決定およびマーク付け.....	2
ラックへのサポート・レールの取り付け.....	4
ラックへの ESLS ストレージ・エンクロージャーの取り付け.....	9
オプション: ESLS ストレージ・エンクロージャーへのディスク・ドライブまたは SSD の取り付け.....	11
システムへの ESLS ストレージ・エンクロージャーの接続.....	14
ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け.....	29
ESLS ストレージ・エンクロージャーの取り付けの完了.....	31
<b>参照情報.....</b>	<b>33</b>
システムの始動.....	33
HMC によって管理されていないシステムの始動.....	33
HMC を使用したシステムまたは論理区画の始動.....	34
システムの停止.....	35
HMC によって管理されていないシステムの停止.....	35
HMC を使用したシステムの停止.....	37
ESLS ストレージ・エンクロージャー のコネクタ位置.....	38
Power10 サーバーのコネクタ位置.....	38
<b>特記事項.....</b>	<b>45</b>
IBM Power サーバーのアクセシビリティ機能.....	46
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項.....	47
商標.....	47
電波障害自主規制特記事項.....	47
クラス A 表示.....	48
クラス B 表示.....	51
使用条件.....	54



# 安全上の注意

安全上の注意は、このガイド全体を通じて記載されています。

- **危険**の注記は、人間に致命的または極めて危険な損傷を与える可能性のある状態について注意を促します。
- **注意**の注記は、何らかの状況が原因の、人間に危険な損傷を与える可能性のある状態について注意を促します。
- **重要**の注記は、プログラム、装置、システム、あるいはデータに損傷を与える可能性があることを示します。

## ワールド・トレードの安全上の注意

国によっては、製品資料に記載される安全上の注意を自国語で提示するよう要求しています。この要求がお客様の国に適用される場合は、製品に付属の資料パッケージ (印刷された資料または DVD で、あるいは製品の一部分として) に安全上の注意についての文書が含まれます。この資料には、安全上の注意が各国語で米国語のソースへの参照とともに記載されています。英語のソース。米国語の資料を使用してこの製品の取り付け、操作、または保守を行う前に、まず関連する安全上の注意に関する資料をよく理解しておく必要があります。また、米国語の資料の安全上の注意を明確に理解していない場合はいつでも、安全上の注意に関する資料を参照してください。英語の資料。

安全上の注意についての文書の差し替え版または追加のコピーについては、IBM ホットライン (1-800-300-8751) に連絡して入手することができます。

## ドイツの安全情報

<!--Das Produkt ist nicht für den Einsatz an Bildschirmarbeitsplätzen im Sinne § 2 der Bildschirmarbeitsverordnung geeignet.-->

## レーザーに関する安全上の注意

IBM サーバーは、レーザーまたは LED を使用する、光ファイバー・ベースの I/O カードまたはフィーチャーを使用することができます。

### レーザーに関する準拠

IBM サーバーは、IT 装置ラックの内部または外部に取り付けることができます。



**危険:** システムまたはその周辺で作業をする場合は、以下の予防措置を確認してください。

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。感電を避けるため、IBM から電源コードが供給されている場合は、その電源コードのみを使用して当装置を電源に接続します。IBM から供給された電源コードは、他の製品には使用しないでください。電源装置アセンブリを開いたり、保守しないでください。雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。



- この製品は複数の電源コードを備えていることがあります。危険な電圧をすべて除去するには、すべての電源コードを取り外してください。AC 電源では、すべての電源コードをそれぞれの AC 給電部から切り離します。DC 電力配分パネル (PDP) 付きのラックでは、PDP へのお客様の DC 電源を切断してください。
- 製品に電源を接続する際には、すべての電源ケーブルが適切に接続されていることを確認します。AC 電源付きのラックでは、すべての電源コードを正しく配線され接地されたコンセントに接続します。電源コンセントから供給される電圧と相回転がシステムの定格銘板に従っていることを確認します。DC 電力配分パネル (PDP) 付きのラックでは、お客様の DC 電源を PDP へ接続します。DC 電源および DC 電源帰線を接続する際に、必ず、適切な極性が使用されていることを確認してください。

- ご使用の製品に接続するすべての装置を、正しく配線されたコンセントに接続してください。
- シグナル・ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 考えられる危険な状態がすべて修正されるまで、マシンへの電力をオンに切り替えようとししないでください。
- マシンの検査を実行する際は、電気に関する安全上の問題が存在することを前提としてください。サブシステムの取り付け手順時に指定された導通、接地、および電源のチェックをすべて実行して、そのマシンが安全要件を満たしていることを確認してください。考えられる危険な状態がすべて修正されるまで、マシンへの電力をオンに切り替えようとししないでください。装置のカバーを開ける前に、取り付けおよび構成の手順で別途指示されている場合を除き、接続されている AC 電源コードを切り離し、ラック電力配分パネル (PDP) 内の該当する回路ブレーカーの電源をオフにして、すべての通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離します。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、以下の手順に従ってケーブルの接続および取り外しを行ってください。

電源を切るには、1) すべての電源をオフにします (別に指示される場合を除く)。2) AC 電源では、コンセントから電源コードを取り外します。3) DC 電力配分パネル (PDP) 付きのラックでは、PDP 内の回路ブレーカーの電源をオフにして、お客様の DC 電源から電力を除去します。4) シグナル・ケーブルをコネクタから取り外します。5) すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

接続するには、1) すべての電源をオフにします (別に指示される場合を除く)。2) すべてのケーブルをデバイスに接続します。3) シグナル・ケーブルをコネクタに接続します。4) AC 電源では、電源コードをコンセントに接続します。5) DC 電力配分パネル (PDP) 付きのラックでは、お客様の DC 電源からの電力を回復し、PDP 内の回路ブレーカーの電源をオンにします。6) デバイスの電源をオンにします。



- 鋭利な先端の部品やジョイントがシステムの中や周囲に存在している可能性があります。機器を取り扱う際には、指を切ったり、こすったり、挟んだりしないように注意してください。(D005)

#### (R001 パート 2 の 1):



**危険:** IT ラック・システムやその周辺で作業をする場合は、以下の予防措置を確認してください。

- 重量のある装置の場合、取り扱いを誤ると身体傷害または設備の損傷を引き起こす可能性があります。
- ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げておきます。
- 地震オプションを取り付ける場合を除き、ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください (提供されている場合)。
- 釣り合いがとれていない機械的荷重による危険な状態を避けるため、最も重いデバイスを常に、ラック・キャビネットの下部に取り付けます。必ず、サーバーおよびオプション・デバイスはラック・キャビネットの下部側から取り付けてください。
- ラック・マウント型デバイスを棚やワークスペースとして使用しないでください。ラックに搭載された装置の上にものを載せないでください。また、ラックに搭載された装置に寄りかかったり、身体の位置を安定させるためにそれらを使用したり (例えば、はしごから作業する場合) しないでください。



- 安定度の危険:
  - ラックがひっくり返って、重傷を引き起こす可能性があります。
  - ラックを取り付け位置に広げる前に、設置手順を読んでください。
  - 取り付け位置にマウントされているスライド・レールが装着済みの装置に負荷をかけないでください。

- スライド・レールが装着済みの装置を取り付け位置に入れたままにしないでください。
- 各ラック・キャビネットには複数の電源コードが付属していることがあります。
  - AC 電源付きのラックでは、保守作業中に電源を切り離す指示がある場合は、ラック・キャビネット内のすべての電源コードを必ず取り外してください。
  - DC 電力配分パネル (PDP) 付きのラックでは、保守作業中に電源を切断するよう指示された場合、システム装置 (単数または複数) への電力を制御する回路ブレーカーをオフにするか、またはお客様の DC 電源を切断してください。
- ラック・キャビネット内のすべてのデバイスは、同一ラック・キャビネットに取り付けられている電源デバイスに接続します。あるラック・キャビネットに取り付けられているデバイスの電源コードを、別のラック・キャビネットにある電源デバイスに接続しないでください。
- 正しく配線されていない電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されたデバイスの金属部品に危険な電圧をかける可能性があります。感電を避けるためにコンセントが正しく配線および接地されていることの確認は、お客様の責任で行ってください。(R001 パート 2 の 1)

**(R001 パート 2 の 2):**



**注意:**

- ラック内部の温度が、すべてのラック・マウント型デバイスに対する製造者推奨の周辺温度を超えるようなラック内には、装置を取り付けしないでください。
- 空気の流れが妨げられているラック内には、装置を取り付けしないでください。装置内で空気の流れるために使用される装置のいずれかの側面、前面、または背面で、空気の流れが妨げられたり減速されたりしないようにしてください。
- 回路の過負荷によって電源配線や過電流保護が破損しないように、電源回路への機器の接続には十分注意してください。ラックに正しく電源を接続するには、ラック内の機器の定格ラベルで、電源回路の総消費電力を確認してください。
- (引き出し式ドロワーの場合。) ラック・スタビライザー・ブラケットがラックに取り付けられていない場合や、ラックが床にボルトで留められていない場合、ドロワーやフィーチャーを引き出したり、取り付けたりしないでください。一度に複数のドロワーを引き出さないでください。複数のドロワーを同時に引き出すと、ラックが不安定になることがあります。



- (固定式ドロワーの場合。) このドロワーは固定ドロワーなので、製造元の指定がない限り、保守のために動かさないでください。ラックからドロワーの一部または全部を引き出そうとすると、ラックが不安定になったり、ドロワーがラックから落下する可能性があります。(R001 パート 2 の 2)



**注意:** ラック・キャビネット内の上の方の位置からコンポーネントを取り外すと、再配置中のラックの安定性が改善されます。格納されたラック・キャビネットを部屋または建物内で再配置するときは必ず、以下の一般ガイドラインに従ってください。



- ・ ラック・キャビネットの上部から順に装置を取り外すことにより、ラック・キャビネットの重量を減らします。可能な場合は、ラック・キャビネットを納品時のラック・キャビネットの構成に復元します。この構成がわからない場合は、以下の手順を実行する必要があります。
  - 32U 位置 (コンプライアンス ID RACK-001) または 22U (コンプライアンス ID RR001) 以上にあるすべてのデバイスを取り外します。
  - 最も重いデバイスがラック・キャビネットの下部に取り付けられていることを確認します。
  - ラック・キャビネット内で 32U (コンプライアンス ID RACK-001) または 22U (コンプライアンス ID RR001) のレベルより下に取り付けられたデバイス間に空の U レベルがほとんどないことを確認します。
- ・ 再配置しているラック・キャビネットが、一組のラック・キャビネットの一部である場合は、そのスイートからラック・キャビネットを切り離します。
- ・ 再配置するラック・キャビネットに取り外し可能なアウトリガーが取り付けられている場合は、アウトリガーを再配置してから、キャビネットを再配置する必要があります。
- ・ 通る予定の経路を検査して、障害になる可能性があるものを取り除きます。
- ・ 選択する経路が、搭載されたラック・キャビネットの重量を支えることができるか検査します。搭載されたラック・キャビネットの重量については、ラック・キャビネットに付属の資料を参照してください。
- ・ すべてのドアの開口部が少なくとも 760 x 2083 mm 以上であることを確認します。
- ・ すべてのデバイス、シェルフ、ドロワー、ドア、およびケーブルが安定していることを確認します。
- ・ 4 つのレベル・パッドが最も高い位置に上がっていることを確認します。
- ・ 移動時にスタビライザー・ブラケットがラック・キャビネットに取り付けられていないことを確認します。
- ・ 傾斜が 10 度を超えるスロープは使用しないでください。
- ・ ラック・キャビネットが新しい場所に置かれたら、以下の手順を実行します。
  - 4 つのレベル・パッドを下げます。
  - ラック・キャビネット上にスタビライザー・ブラケットを取り付けるか、地震環境ではラックを床にボルトで留めます。
  - ラック・キャビネットからデバイスを取り外してあった場合は、ラック・キャビネットの最も低い位置から最も高い位置へと格納していきます。
- ・ 長距離の移動が必要な場合は、ラック・キャビネットを納品時のラック・キャビネットの構成に復元します。ラック・キャビネットを元の梱包材、またはそれと同等のもので梱包します。また、レベル・パッドを下げて、キャスターをパレットから離れるように持ち上げ、ラック・キャビネットをパレットにボルトで止めます。

(R002)

(L001)



**危険：**このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。このラベルが付いているカバーまたはバリアは開けないでください。(L001)

(L002)





**危険：**ラック・マウント型デバイスを棚やワークスペースとして使用しないでください。ラックに搭載された装置の上にものを載せないでください。また、ラックに取り付けられた装置に寄り掛かったり、(はしごに乗って作業している場合などに) 体の位置を安定させるためにそれらの装置を使用したりしないでください。安定度の危険:

- ・ラックがひっくり返って、重傷を引き起こす可能性があります。
- ・ラックを取り付け位置に広げる前に、設置手順を読んでください。
- ・取り付け位置にマウントされているスライド・レールが装着済みの装置に負荷をかけないでください。
- ・スライド・レールが装着済みの装置を取り付け位置に入れたままにしないでください。

(L002)

(L003)



または



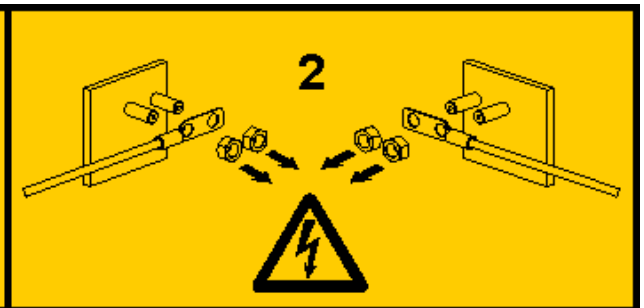
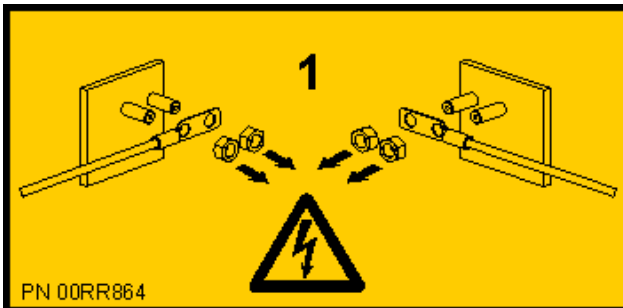
または




または




または



 **危険:** 複数の電源コード。この製品は複数の AC 電源コードや複数の DC 電源ケーブルを備えていることがあります。危険な電圧をすべて除去するために、すべての電源コードと電源ケーブルを切り離してください。(L003)

(L007)



 **注意:** 近くに高温になる部品が存在します。(L007)

(L008)



注意：近くに危険な可動部品があります。(L008)

(L018)



または



注意：高レベルの音響ノイズが存在します(特定の状況下では存在する可能性があります)。承認を受けた聴覚保護を使用するか、もしくは緩和を実現するか露出を制限する(あるいはその両方)を行ってください。(L018)

(L031)



注意：



エンクロージャーの保全性

- ・アクセス・カバーは、ときどき取り外すためのみを意図したものです。
- ・稼働中または一時的なサービス中に開ける場合は、資料の手順に従ってください。
- ・サービスが完了したら、適切に稼働できるように、ただちにすべてのカバー、ふた、および/またはドアを再取り付けします。(L031)

すべてのレーザーは、クラス 1 のレーザー製品について規定している米国の保健社会福祉省連邦規則 21 副章 J (DHHS 21 CFR Subchapter J) の要件に準拠していることが認証されています。米国以外の国ではレーザーは、クラス 1 レーザー製品として IEC 60825 に準拠していることが認証されています。レーザー認証番号および承認情報については、各部品のラベルをご覧ください。



注意：この製品には、クラス 1 のレーザー製品である CD-ROM ドライブ、DVD-ROM ドライブ、DVD-RAM ドライブ、またはレーザー・モジュールの各デバイスのうち 1 つ以上が含まれていることがあります。次の情報に注意してください。

- ・カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- ・本書に記述されている以外の手順、制御または調節を行うと有害な光線を浴びることがあります。

(C026)



**注意:** データ処理環境には、クラス 1 のパワー・レベルより高いレベルで作動するレーザー・モジュールを備えるシステム・リンク上で伝送する装置が含まれることがあります。この理由から、光ファイバー・ケーブルの先端、またはコンセントの差込口を覗き込まないでください。光ファイバーの導通を確認するために、切断された光ファイバーの一方の端に明るい光を入れ、もう一方の端を覗き込んでも目に損傷を与えない可能性はありますが、このやり方は潜在的に危険です。そのため、一方の端に明るい光を入れ、もう一方の端を覗き込んで光ファイバーの導通を確認することはお勧めしません。光ファイバー・ケーブルの導通を検査するには、光学式光源および電力メーターを使用してください。(C027)



**注意:** この製品には、クラス 1M のレーザーが含まれています。光学装置を用いて直接見ないでください。(C028)



**注意:** 一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次の情報に注意してください。

- カバーを開くとレーザー光線の照射があります。
- 光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。(C030)

(C030)



**注意:** このバッテリーにはリチウムが含まれています。爆発することがありますので、バッテリーを火中に入れたり、充電したりしないでください。

次の行為は絶対にしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C を超えて加熱
- 修理または分解

IBM 承認の部品のみと交換してください。バッテリーのリサイクルまたは廃棄については、地方自治体の条例に従ってください。アメリカ合衆国では、IBM がバッテリー 収集を実施しています。詳しくは、1-800-426-4333 までお電話ください。お問い合わせの前に、このバッテリー・ユニットの IBM 部品番号をご用意ください。(C003)



**注意:** IBM 提供のベンダー・リフト・ツールについて:

- リフト・ツールの作業は、許可された担当者のみが行ってください。
- リフト・ツールは、ラックの高い位置での装置 (荷物) の補助、引き上げ、取り付け、取り外しに使用するものです。これは、装置を装着して大きなスロープを移送するために使用したり、パレット・ジャック、ウォーカー、フォーク・トラックなどの指定ツールや関連の再配置実施の代替として使用したりするためのものではありません。このような作業を実行できない場合は、特別な訓練を受けた担当員またはサービスを使用する必要があります (例えば、整備業者や運送業者など)。
- リフト・ツールを使用する前に、作業用の資料を読んで完全に理解してください。よく読んで理解し、安全の規則に従い、手順に従って作業しないと、資産が損傷したり、作業者が負傷したりする可能性があります。質問がある場合は、ベンダーのサービスおよびサポートにお問い合わせください。ご使用の地域用の紙の資料は、マシンの近くの保管場所に保存しておく必要があります。最新リビジョンの資料は、ベンダーの Web サイトから入手可能です。
- 使用前には、毎回スタビライザーのブレーキ機能をテストして確認してください。スタビライザーのブレーキを固定した状態で、過剰な力でリフト・ツールを動かしたり回転させたりしてはなりません。
- スタビライザー (ブレーキ・ペダル・ジャック) が完全に固定されていない限り、プラットフォーム積載棚を上下左右に動かしてはなりません。使用も移動もしていない場合は、スタビライザーのブレーキを固定したままにしてください。
- わずかな位置決めを除き、プラットフォームが上がっている状態でリフト・ツールを移動させてはなりません。
- 定められた積載能力を超えてはなりません。引き伸ばされたプラットフォームの中央と端における最大積載量については、積載能力チャートを参照してください。

- ・積載量が増加するのは、プラットフォームの中央に適切に配置されている場合のみです。スライドさせたプラットフォームの棚の端には、91 kg を超える装置を置いてはなりません。また、装置の重心も考慮する必要があります。
- ・プラットフォーム、傾斜ライザー、角度のあるユニット設置ウェッジ、その他の付属品オプションの隅に荷重をかけないでください。そのようなプラットフォーム (ライザー傾斜、ウェッジなどのオプション) は、使用する前に、提供されたハードウェアのみを使用して 4 つの位置すべて (4x またはその他のプロビジョン取り付け) にあるメイン・リフト棚または分岐点に固定します。積載オブジェクトは、大きな力を加えなくてもプラットフォーム上で簡単にスライドするように設計されているため、押したり寄り掛かったりしないように注意してください。ライザー傾斜 (調整可能な角度プラットフォーム) オプションは、最終的な微調整 (必要な場合) を除き、常に平らな状態を維持してください。
- ・突き出した積載の下には立たないでください。
- ・表面に段差がある場所や傾斜 (大きなスロープ) では使用しないでください。
- ・装置を積み重ねないでください。
- ・薬物やアルコールの影響がある状態で操作を行ってはなりません。
- ・リフト・ツールに対して踏み台で支えてはなりません (このツールを使用した高さでの作業に対して認定された手順に従うものに特定のあそびが設けられている場合を除く)。
- ・倒れる危険があります。プラットフォームが上がった状態で装置を押ししたり寄り掛かったりしてはなりません。
- ・人を持ち上げるためのプラットフォームや階段として使用してはなりません。人を乗せるためのものではありません。
- ・リフトのどの部分にも立ってはなりません。階段ではありません。
- ・マストに登ってはなりません。
- ・損傷あるいは誤動作しているリフト・ツール・マシンを操作してはなりません。
- ・プラットフォームの下には、押し潰されたり挟まったりする危険な場所があります。装置を下ろす場合は、必ず人や障害物がない場所で行ってください。作業中は、手足に十分に注意してください。
- ・フォークではありません。パレット・トラック、ジャック、あるいはフォーク・リフトを使用して、むき出しのリフト・ツール・マシンを持ち上げたり移動したりしてはなりません。
- ・マストはプラットフォームより高い位置まで伸びます。天井の高さ、ケーブル・トレイ、スプリンクラー、電灯、およびその他の頭上にある物に注意してください。
- ・装置を上げた状態でリフト・ツール・マシンから離れないでください。
- ・装置が動作しているときは、手、指、衣類に十分に注意してください。
- ・ウィンチは、手の力のみで回転させてください。ウィンチ・ハンドルを片手で回すのが困難である場合は、荷重が大きすぎる可能性が高いです。プラットフォーム・トラベルの最上部または最下部を超えてウィンチを回さないでください。過度に巻き戻すと、ハンドルが外れてケーブルが損傷します。下げたり巻き戻したりする場合は、常にハンドルを保持してください。ウィンチ・ハンドルを離す前に、ウィンチが装置を保持していることを必ず確認してください。
- ・ウィンチの事故は、重傷の原因となる可能性があります。人を動かすためのものではありません。装置を引き上げる際には、クリック音が聞こえることを確認してください。ハンドルを離す前に、ウィンチが所定の位置にロックされていることを確認してください。このウィンチで作業する前に、手順を示すページをお読みください。絶対にウィンチが勝手に巻き戻ることがないようにしてください。ウィンチが勝手に回転すると、ケーブルが不規則にウィンチ・ドラムの周囲に巻かれたり、ケーブルが損傷したり、重傷の原因となる可能性があります。
- ・このツールは、IBM サービス担当員が使用するために、適切に維持する必要があります。IBM は、操作の前に状態を検査し、保守履歴を確認します。担当者は、不足がある場合に、このツールを使用しない権利を有します。(C048)



**注意:** この装置は、子どもがいる可能性の高い場所での使用には適していません。(C052)

## NEBS (Network Equipment-Building System) GR-1089-CORE の電源および配線の情報

以下のコメントは、NEBS (Network Equipment-Building System) GR-1089-CORE 準拠として指定された IBM サーバーに適用されます。

装置は、以下での設置に適しています。

- ネットワーク通信設備
- NEC (National Electrical Code) が適用される場所

この装置のイントラビルディング・ポートは、イントラビルディングまたは屋外に露出していない配線またはケーブル接続にのみ適しています。この装置のイントラビルディング・ポートを OSP (屋外施設) やその配線に接続されているインターフェースの金属部と接続しないでください。これらのインターフェースは、イントラビルディング・インターフェース (GR-1089-CORE 記載のタイプ 2 ポートまたはタイプ 4 ポート) としてのみ使用するように設計されており、屋外に露出した OSP 配線とは分離する必要があります。1 次保護装置を追加しても、これらのインターフェースと OSP 配線の金属部の接続を十分に保護することはできません。

**注:** すべてのイーサネット・ケーブルは、シールドされ、両端が接地されている必要があります。

AC 電源システムに、外部サージ保護装置 (SPD) を使用する必要はありません。

DC 電源システムは、分離 DC 帰還 (DC-I) 設計を採用しています。DC バッテリー帰還端子をシャーシまたはフレーム・アースに接続しないでください。

DC 電源システムは、GR-1089-CORE に記載されているとおり、Common Bonding Network (CBN (共通ボンディング・ネットワーク)) に設置されることを意図したものです。



# ESLS ストレージ・エンクロージャーの取り付け

ESLL ストレージ・エンクロージャー (IBM EXP12SX SAS ストレージ・エンクロージャー) または ESLS ストレージ・エンクロージャー (IBM EXP24SX SAS ストレージ・エンクロージャー) をラックに取り付ける方法と、それをシステムか、システムまたは拡張装置内のアダプターにケーブル接続する方法を説明します。

ラックへのストレージ・エンクロージャーの取り付けは、お客様が行う作業です。この作業は、お客様自身で行うこともできますが、サービス・プロバイダーに依頼することもできます。この作業に関して、サービス・プロバイダーがお客様に費用を請求させていただく場合があります。

ESLS ストレージ・エンクロージャーを取り付けるためには、以下のタスクを実行してください。

1. [ESLS ストレージ・エンクロージャーを取り付ける準備](#)
2. [2 ページの『ESLS ストレージ・エンクロージャーの在庫の記入』](#)
3. [2 ページの『ラック内の位置の決定およびマーク付け』](#)
4. [4 ページの『ラックへのサポート・レールの取り付け』](#)
5. [9 ページの『ラックへの ESLS ストレージ・エンクロージャーの取り付け』](#)
6. [11 ページの『オプション: ESLS ストレージ・エンクロージャーへのディスク・ドライブまたは SSD の取り付け』](#)
7. [14 ページの『システムへの ESLS ストレージ・エンクロージャーの接続』](#)
8. [29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』](#)
9. [31 ページの『ESLS ストレージ・エンクロージャーの取り付けの完了』](#)

## ESLS ストレージ・エンクロージャー を取り付ける準備

ESLS ストレージ・エンクロージャーを取り付ける準備をするには、以下の手順のステップを実行します。

1. エンクロージャーをサポートするために必要なソフトウェアのレベルを判別します。  
手順については、[Power Systems の前提条件 Web サイト \(https://www14.software.ibm.com/support/customercare/iprt/home\)](https://www14.software.ibm.com/support/customercare/iprt/home)を参照してください。
2. 以下の情報を検討して、システム電源がオンの状態でエンクロージャーをホスト・システムに追加できるかどうかを判別します。以下の構成のいずれかが備わっている場合は、システム電源がオンの状態で、かつ論理区画がアクティブな状態でエンクロージャーを追加できます。
  - ・システムが IBM Hardware Management Console (HMC) によって管理されている。
  - ・システムは HMC によって管理されておらず、区画は 1 つのみで、その区画が IBM I オペレーティング・システムを実行している。

注: これらのいずれかの構成も使用していない場合は、エンクロージャーを追加するためにシステムの電源をオフにする必要があります。
3. 次のオプションのいずれかを選択してください。
  - ・ ESLS ストレージ・エンクロージャーがラックに事前設置された状態で設置場所に届いた場合は、以下のいずれかの手順に進みます。
    - ディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を取り付ける必要がある場合は、[11 ページの『オプション: ESLS ストレージ・エンクロージャーへのディスク・ドライブまたは SSD の取り付け』](#)に進みます。
    - ESLS ストレージ・エンクロージャーをシステムに接続する必要がある場合は、[14 ページの『システムへの ESLS ストレージ・エンクロージャーの接続』](#)に進みます。
  - ・ ESLS ストレージ・エンクロージャーをラックに取り付ける必要がある場合は、以下の品目が揃っていることを確認してから、取り付けを開始してください。
    - プラス・ドライバー
    - マイナス・ドライバー

- 2 EIA (Electronic Industries Alliance) 単位の隣接するスペースがあるラック

注: ラックをまだ設置していない場合は、ラックを設置します。手順については、[ラックおよびラック・フィーチャー \(http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10hbf/p10hbf\\_10xx\\_kickoff.htm\)](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10hbf/p10hbf_10xx_kickoff.htm) を参照してください。

## ESLS ストレージ・エンクロージャの在庫の記入

ESLS ストレージ・エンクロージャの在庫を供給するには、この手順のステップを実行します。

1. 在庫リストを参照し、注文した部品をすべて受け取ったことを確認します。少なくとも、各注文には以下の品目が入っています。
  - 左右のラック・マウント・ハードウェア
  - 取り付け用ねじ
  - 電源ケーブル
2. 配送品の中に取り付け手順の実行に必要でない部品が含まれている場合、それらの部品が将来必要になる場合に備えて、保管しておいてください。
3. 部品が間違っていたり、欠落または損傷があった場合は、以下のいずれかに連絡してください。
  - お客様の IBM 販売店。
  - IBM Rochester Manufacturing Automated Information の電話番号は 1-800-300-8751 です (米国のみ)。
  - [Directory of worldwide contacts Web サイト \(http://www.ibm.com/planetwide\)](http://www.ibm.com/planetwide) を参照してください。地域を選択して、サービスおよびサポート窓口の情報を表示してください。
4. 部品の間違い、欠落、または損傷があった場合は、次のレベルのサポートに相談してください。

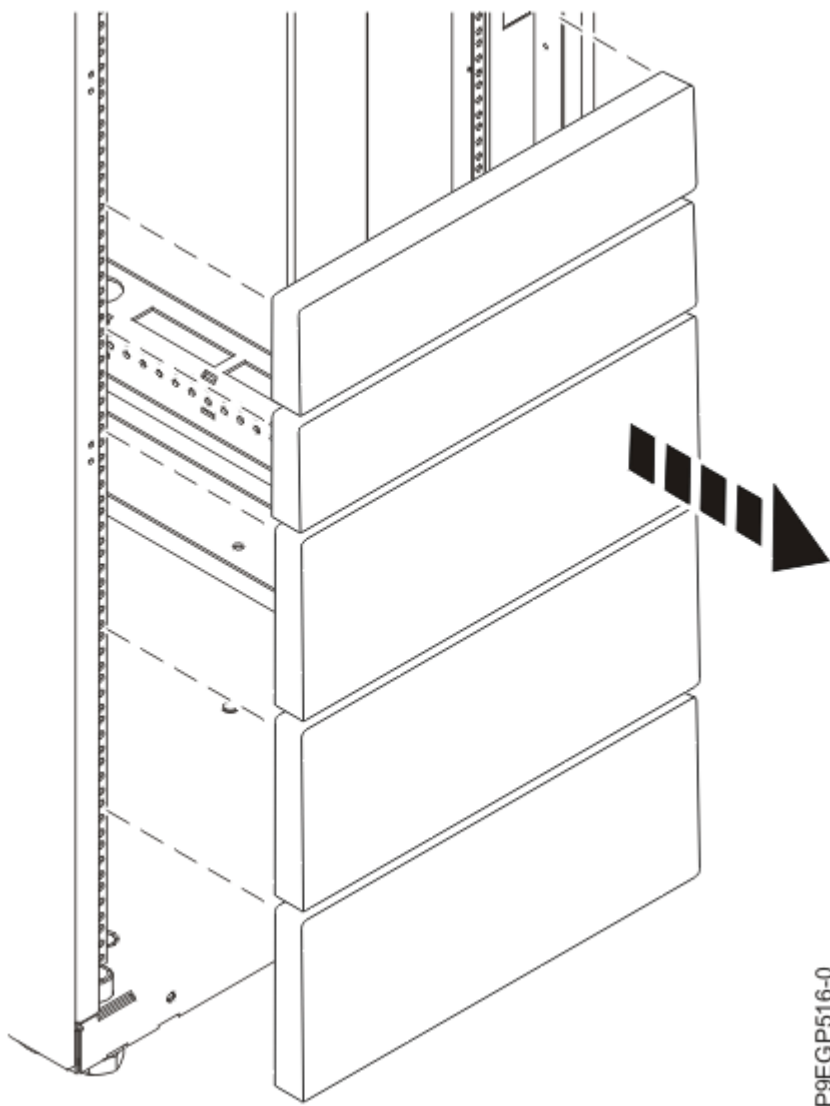
## ラック内の位置の決定およびマーク付け

ESLS ストレージ・エンクロージャをラックに取り付ける場所を決定するには、以下の手順のステップを実行します。

[ラックの安全上の注意 \(http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10hbf/p10hbf\\_racksafety.htm\)](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10hbf/p10hbf_racksafety.htm) をお読みください。

1. 他のシステム・ハードウェアとの関係を考えて、ラック内のどこにエンクロージャを配置するかを決定します。ラックへのエンクロージャの取り付けを計画する際、以下の情報に留意してください。
  - 大きくて重いシステム装置を、ラックの下段に設置します。
  - 最初に、ラックの下の方の段から装置を取り付けるように計画します。
  - 計画に EIA (Electronic Industries Alliance (米国電子工業会)) の位置を記録します。

注: エンクロージャは、2 EIA 単位の高さです。1 EIA 単位は 44.50 mm です。ラックには、1 EIA 単位の高さにつき 3 つの取り付け穴があります。したがって、このエンクロージャは高さが 89 mm で、ラック内の 6 個の取り付け穴を使用します。
2. 必要な場合は、前面と背面のラック・ドアを開くか取り外します。
3. 静電気放電 (ESD) リスト・ストラップを着用していること、および ESD クリップのプラグが接地されているジャックに差し込まれているか、またはクリップが塗装されていない金属面に接続されていることを確認します。そうでない場合は、ここで行ってください。
4. 必要な場合、エンクロージャまたはドロワーを配置するラック・エンクロージャ内へアクセスできるよう、フィラー・パネルを取り外します。



P9EGP516-0

図 1. フィラー・パネルの取り外し

5. ラックの正面に向かって、左側から作業して、以下の手順を実行します。
- a) エンクロージャーに使用する一番下の EIA 単位をメモします。
  - b) テープ、マーカー、または鉛筆を使用して、一番下の EIA 単位の上部取り付け穴 **(A)** にマークを付けます。

注：これらのマークは、ラックの背面からも見えるように付けてください。

- c) 穴を上から 2 つ数えて、その取り付け穴 **(B)** の横にもう 1 つマークを付けます。

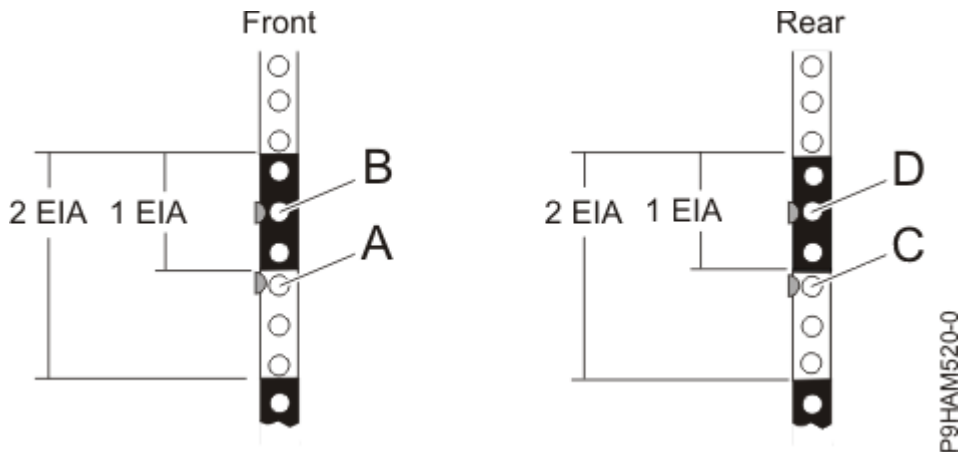


図 2. 取り付け位置のマーク付け

6. ステップ 3 ページの『5』を繰り返して、ラックの前部右側の対応する取り付け穴に 2 つのマークを付けます。
7. ラックの背面に回り、左側から作業して、以下の手順を実行します。
  - a. ラックの前面でマークを付けた最下部 EIA 単位に対応する EIA 単位を見つけます。
  - b. テープ、マーカー、または鉛筆を使用して、一番下の EIA 単位の上部取り付け穴 (C) にマークを付けます。
  - c. 穴を上にも 2 つ数えて、その取り付け穴 (D) の横にもう 1 つマークを付けます。
8. ステップ 4 ページの『7』を繰り返して、ラックの後部右側の対応する取り付け穴に 2 つのマークを付けます。

## ラックへのサポート・レールの取り付け

サポート・レールをラックに取り付けるには、この手順のステップを実行します。



**重要:** レールに不具合が生じたり、ご自身とシステム装置に危険が生じるのを避けるために、ご使用のラック用の適切なレールと取り付け具を使用していることを確認してください。ご使用のラックに支持フランジ用の四角い穴または支持フランジ用のねじ穴がある場合、レールと取り付け具が、ラックで使われている支持フランジ用の穴に一致することを確認してください。一致しないハードウェアをワッシャーまたはスペーサーを使用して取り付けないでください。ご使用のラック用の適切なレールと取り付け具が揃っていない場合は、お客様の IBM 販売店にお問い合わせください。

**重要:** レールの取り付けは 1 人で行うことができます。ただし、取り付け作業は、ラックの前面側に 1 人、ラックの背面側に 1 人いると容易に行うことができます。

1. 静電気放電 (ESD) リスト・ストラップを着用していること、および ESD クリップのプラグが接地されているジャックに差し込まれているか、またはクリップが塗装されていない金属面に接続されていることを確認します。そうでない場合は、ここで行ってください。
2. レールを選択して、配送のためにテープで取り付けられている部品をすべて取り外します。
3. レールを伸ばして、両方の円形スタンドオフが見えるようにします。
4. 5 ページの図 3 に示すように、一方の端を円形支柱 (A) に、もう一方の端をもう一方の円形支柱 (B) に引っ掛けて、スプリングをレールに取り付けます。

**注:** ご使用のラックに正方形の取り付け穴がある場合は、レール・ピンをレールから取り外します。ラック取り付けキットに入っている大きいほうのレール・ピンを取り付けます。

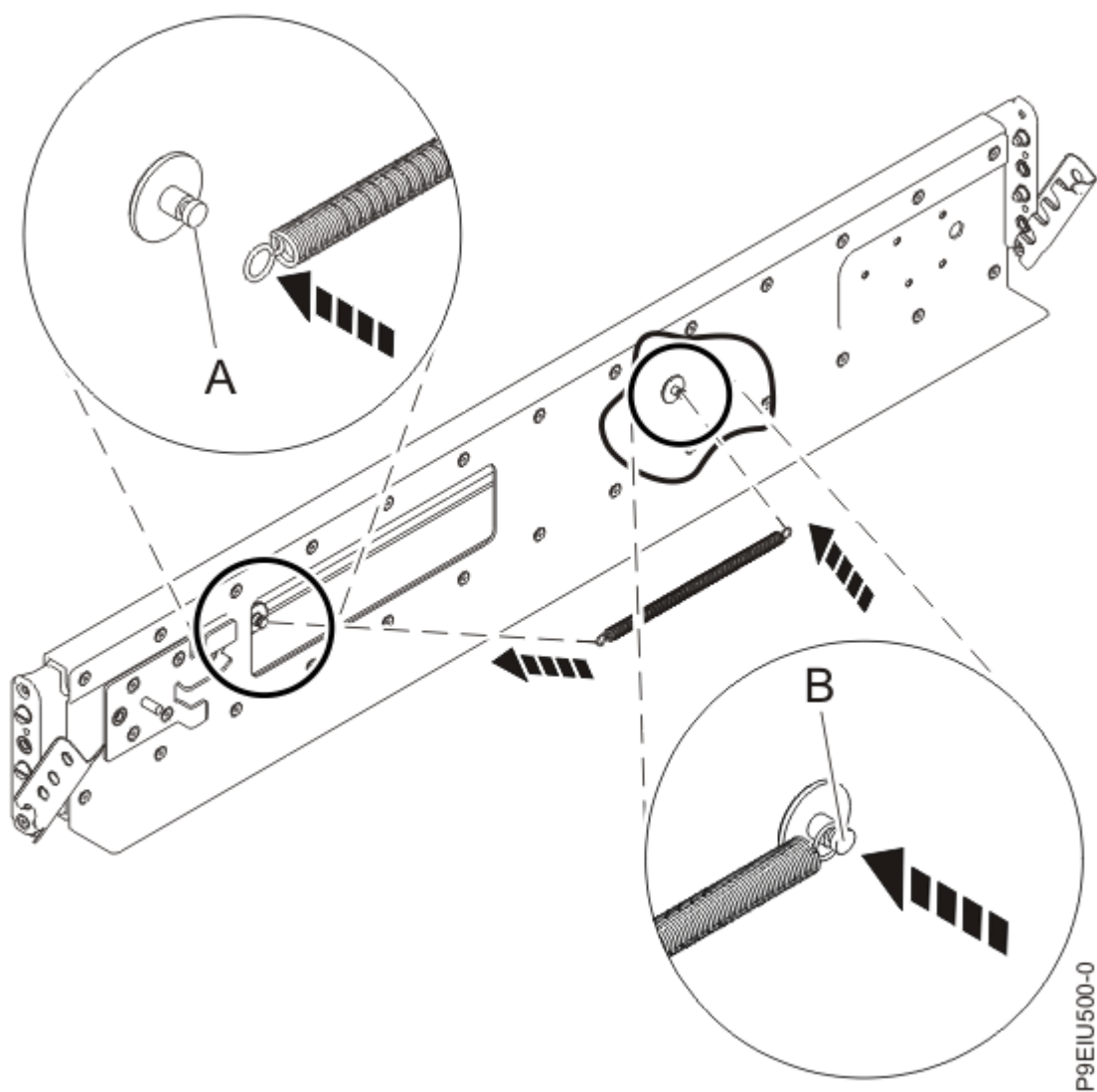
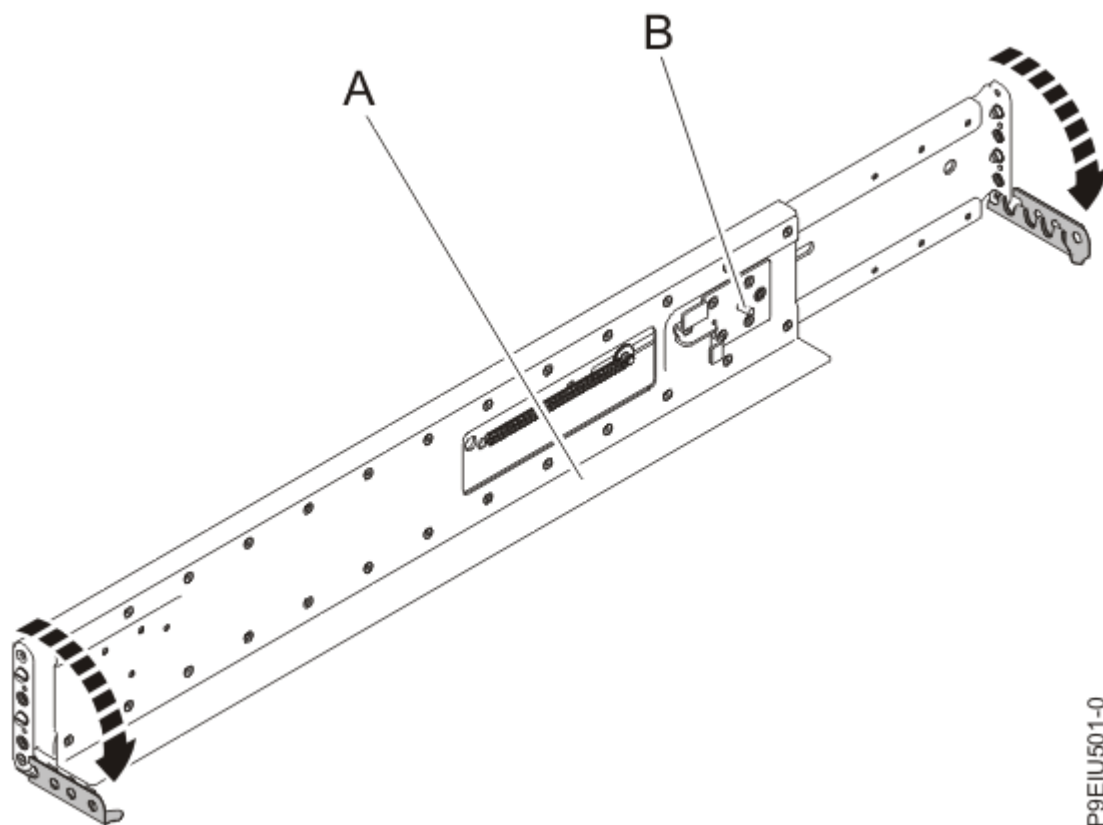


図 3. バネのレールへの取り付け  
5. レールの両端でちょうつがいブラケットを開きます。



P9EIU501-0

図 4. レールのちょうつがいブラケットを開く

6. 次のようにして、ラックのオープン・スペースの内側でレールを保持し、レールを取り付ける必要があるラックの側面を確認します。
- レールが前部から後部に向いている。
  - サポート支持部 **(A)** が下部にあり、ラック内側のオープン・スペースの中央方向に向いている。
  - エンクロージャストップ **(B)** は、ラックの背面に向かって配置されています。ドロワーストップ **(B)** は、ラックの背面に向かって配置されています。



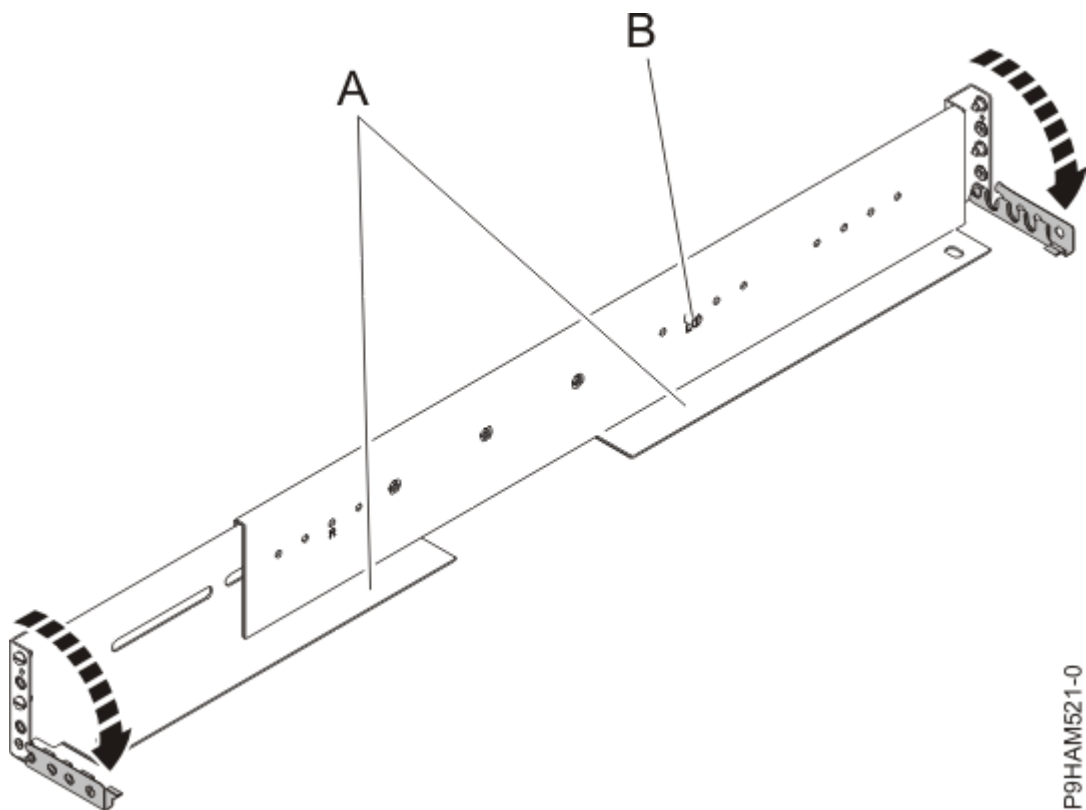


図 5. レールのちょうつがいブラケットを開く

7. 以前に米国電子工業会 (EIA) ストリップに付けた 2 つのマークを見つけます。
8. レール・ブラケットをラック・キャビネットの内側のマークの横に位置合わせし、サポート・レール取り付け金具のピンを取り付け穴にはめます。レール支持部の下部が、ラック・フランジ上の U マークの少し上に見えるようになります。

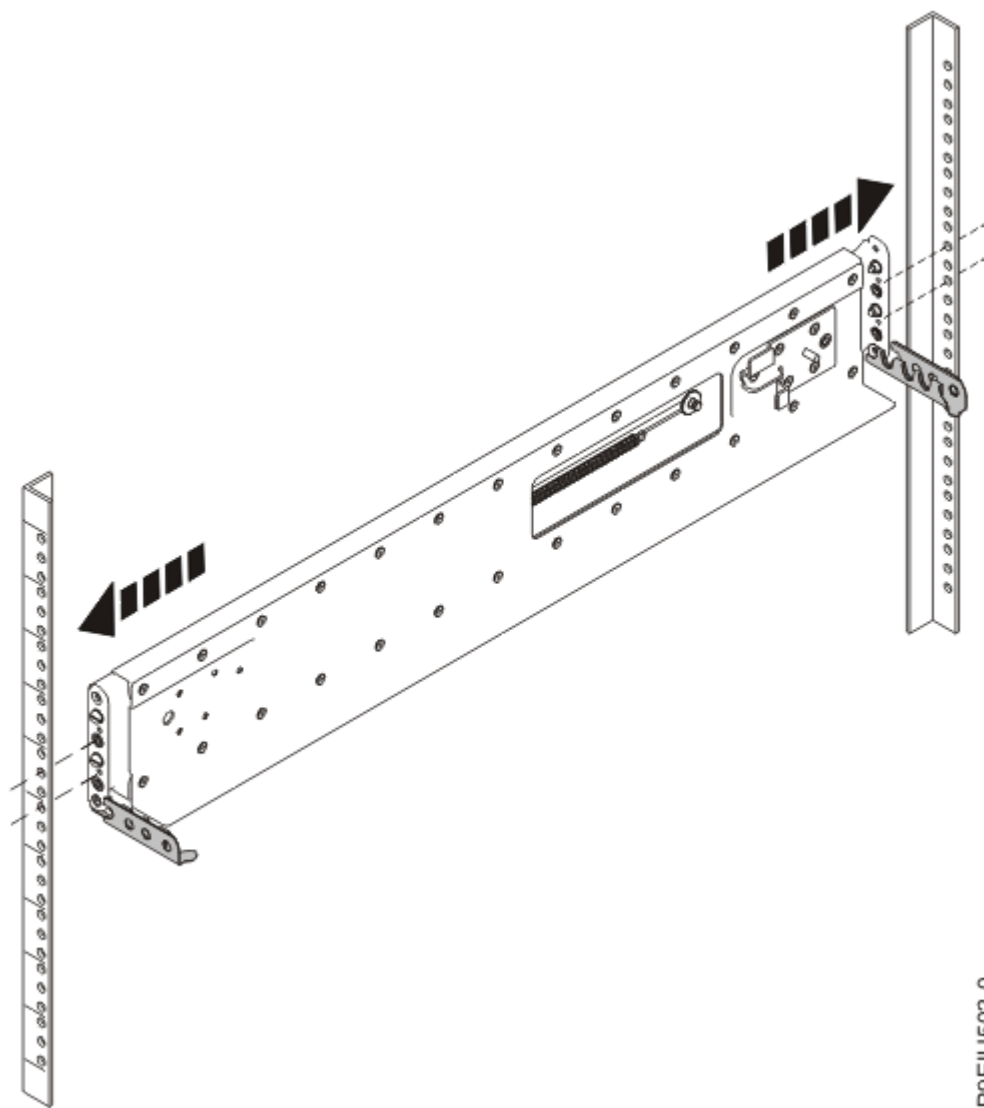
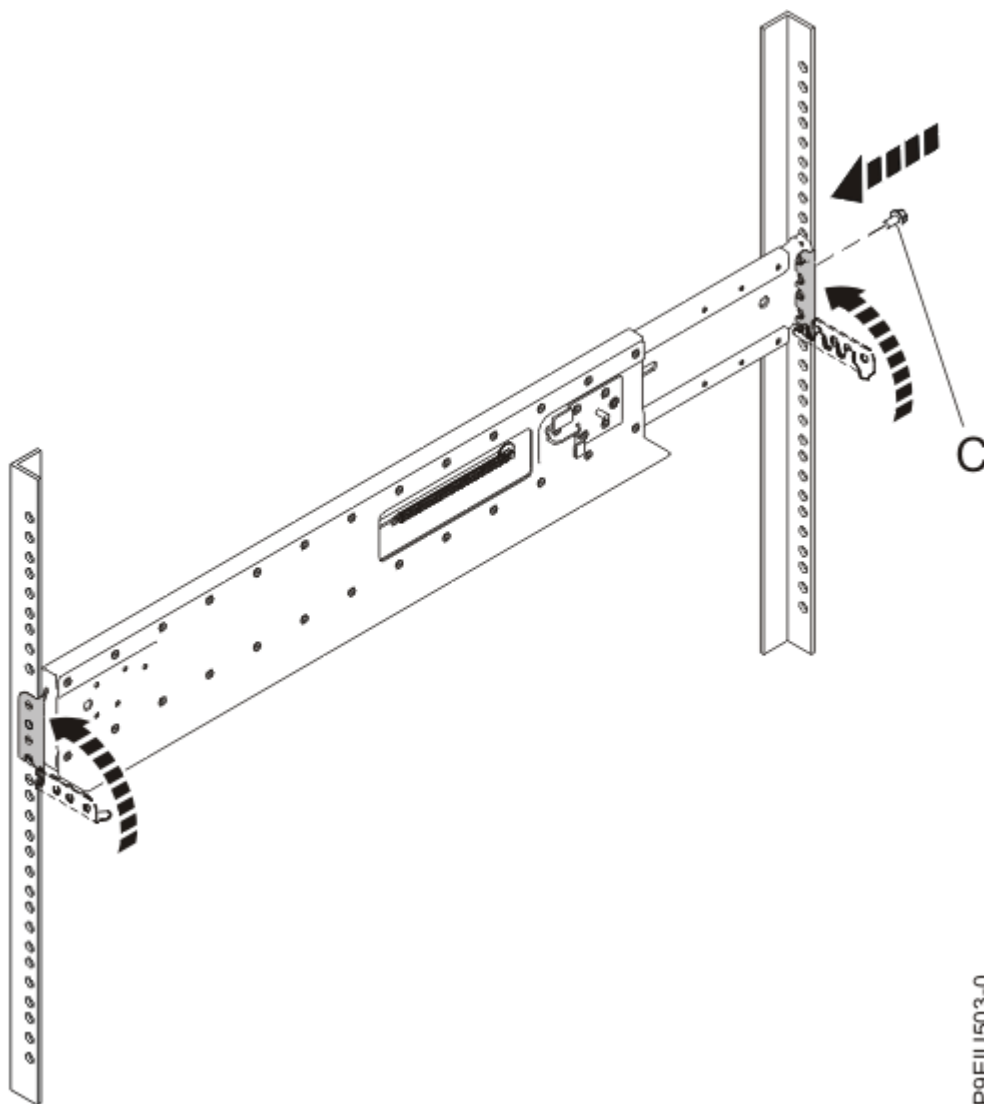


図 6. レールのラックへの取り付け

9. 前部のヒンジ・ブラケットを閉めて、レールをラック・キャビネット・フランジに固定します。



P9EIU503-0

図 7. レールのラックへの固定

10. ラックの後部で、レールがラック・フランジにぴったり合うまで慎重に縮めて、ピンをマークのある取り付け穴にはめます。次に、後部ヒンジ・ブラケットを閉じて、レールをラック・キャビネット・フランジに固定します。
11. ラックの後部にある 2 つの位置合わせピンの間のブラケットの穴に 1 本の M5 ねじ (C) を取り付けます。
12. もう一方のサポート・レールについてもこの手順を繰り返します。

## ラックへの ESLS ストレージ・エンクロージャーの取り付け

ESLS ストレージ・エンクロージャーをラックに取り付けるには、この手順のステップを実行します。

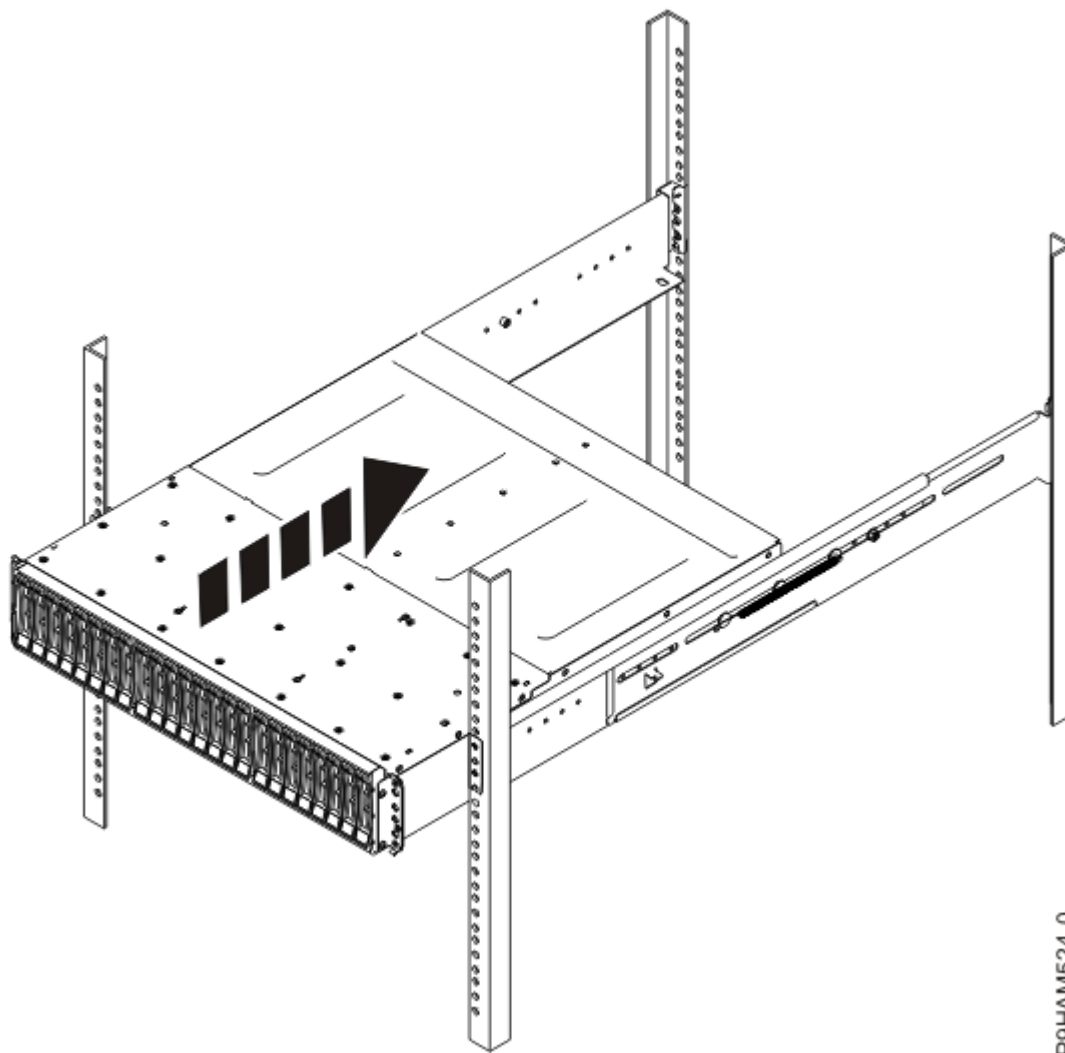
**重要:** エンクロージャーを安全に持ち上げるには、2 人が必要です。1 人でエンクロージャーを持ち上げると、負傷する可能性があります。

1. 静電気放電 (ESD) リスト・ストラップを着用していること、および ESD クリップのプラグが接地されているジャックに差し込まれているか、またはクリップが塗装されていない金属面に接続されていることを確認します。そうでない場合は、ここで行ってください。
2. 左のサイド・カバー (A) と右のサイド・カバー (B) を取り外して、取り付け金具が見えるようにします。
3. 2 人でエンクロージャーを持ち上げ、レール前部に乗せます。



**重要:** エンクロージャーを安全に持ち上げるには、2 人が必要です。1 人でエンクロージャーを持ち上げると、負傷する可能性があります。

4. エンクロージャーをスライドさせて、ラック・キャビネットに差し込みます。エンクロージャーの背面ガイドがサポート・レールのエンクロージャー・ストップに装着されていることを確認します。



P9HAM524-0

図 8. ラックへのエンクロージャーのスライド

5. 各ブラケットの上部の穴に1本の M5 ねじ **(c)** を取り付けて、エンクロージャーの前部をラック・フランジに固定します。

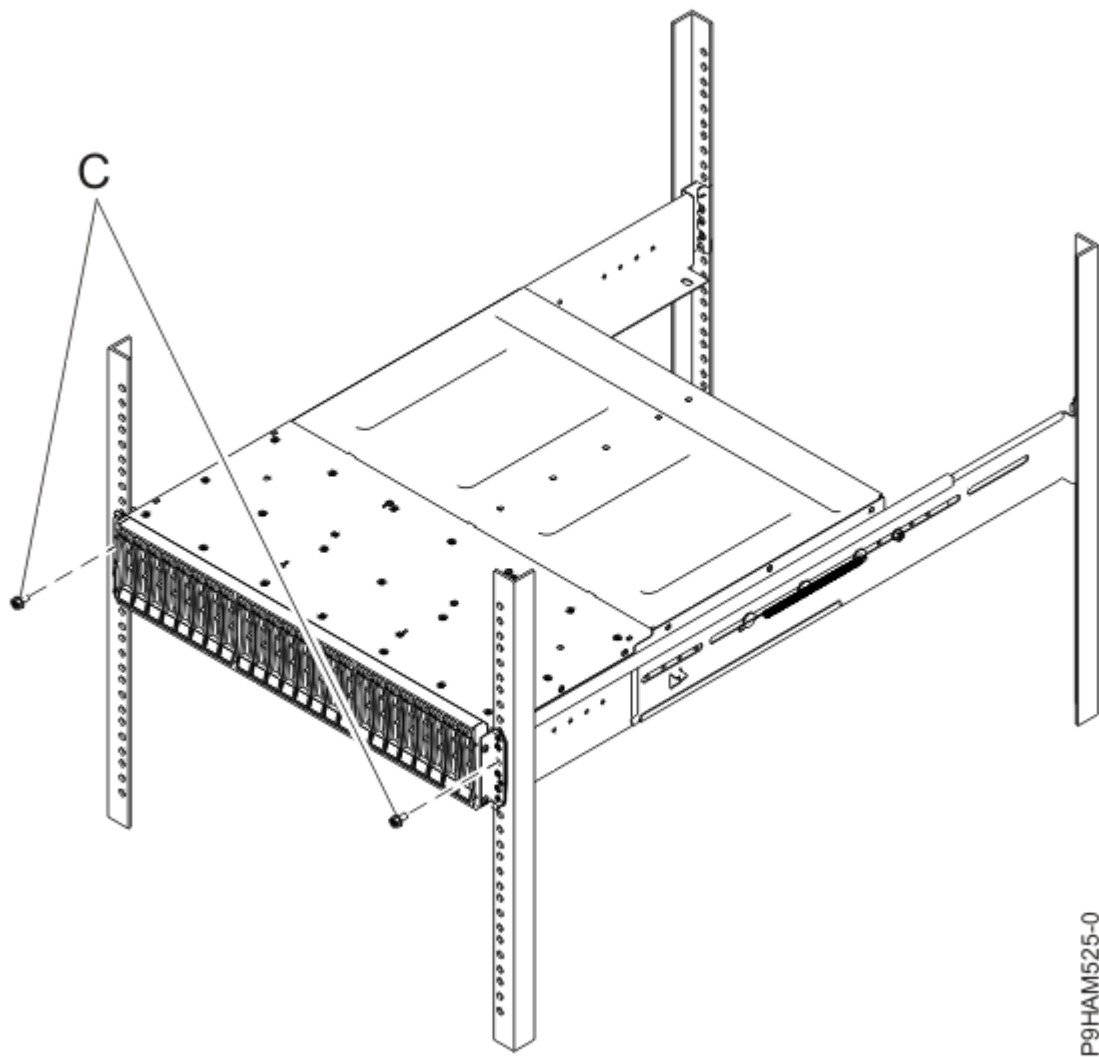


図 9. ラックへのエンクロージャー前部の固定

## オプション: ESLS ストレージ・エンクロージャーへのディスク・ドライブまたは SSD の取り付け

ディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を ESLS ストレージ・エンクロージャーに取り付けるには、この手順のステップを実行します。

1. 静電気放電 (ESD) リスト・ストラップを着用していること、および ESD クリップのプラグが接地されているジャックに差し込まれているか、またはクリップが塗装されていない金属面に接続されていることを確認します。そうでない場合は、ここで行ってください。
2. ドライブを帯電防止パッケージから取り出します。



**重要:** ドライブは壊れやすいため、注意して取り扱ってください。

3. ハンドルがロック解除位置になっている状態で、ドライブの底部を支えながら、ディスク・ドライブをエンクロージャーのガイド・レールに位置合わせします。12 ページの図 10 または 13 ページの図 11 を参照してください。

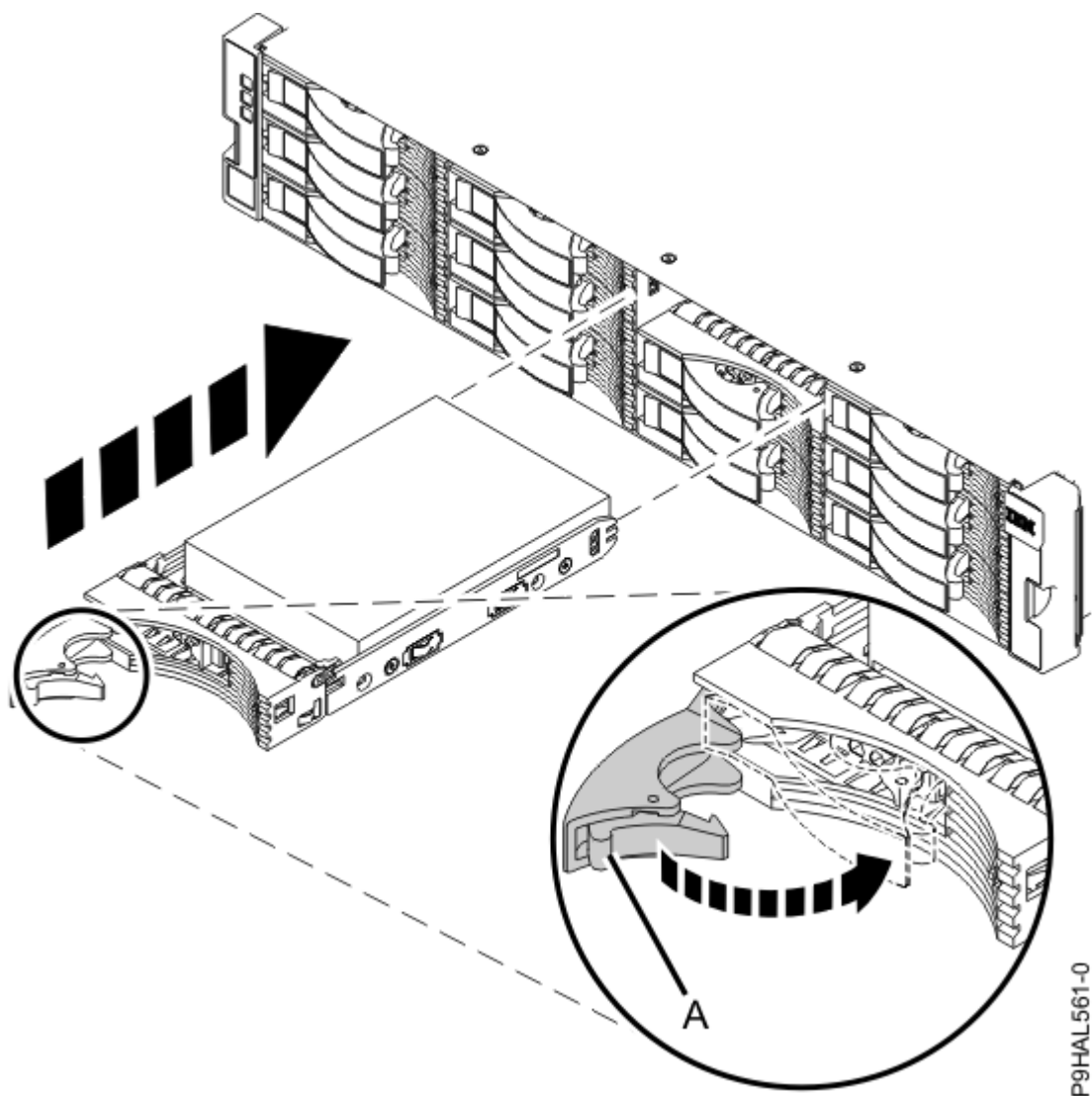


図 10. ESLL ストレージ・エンクロージャーへのドライブの取り付け



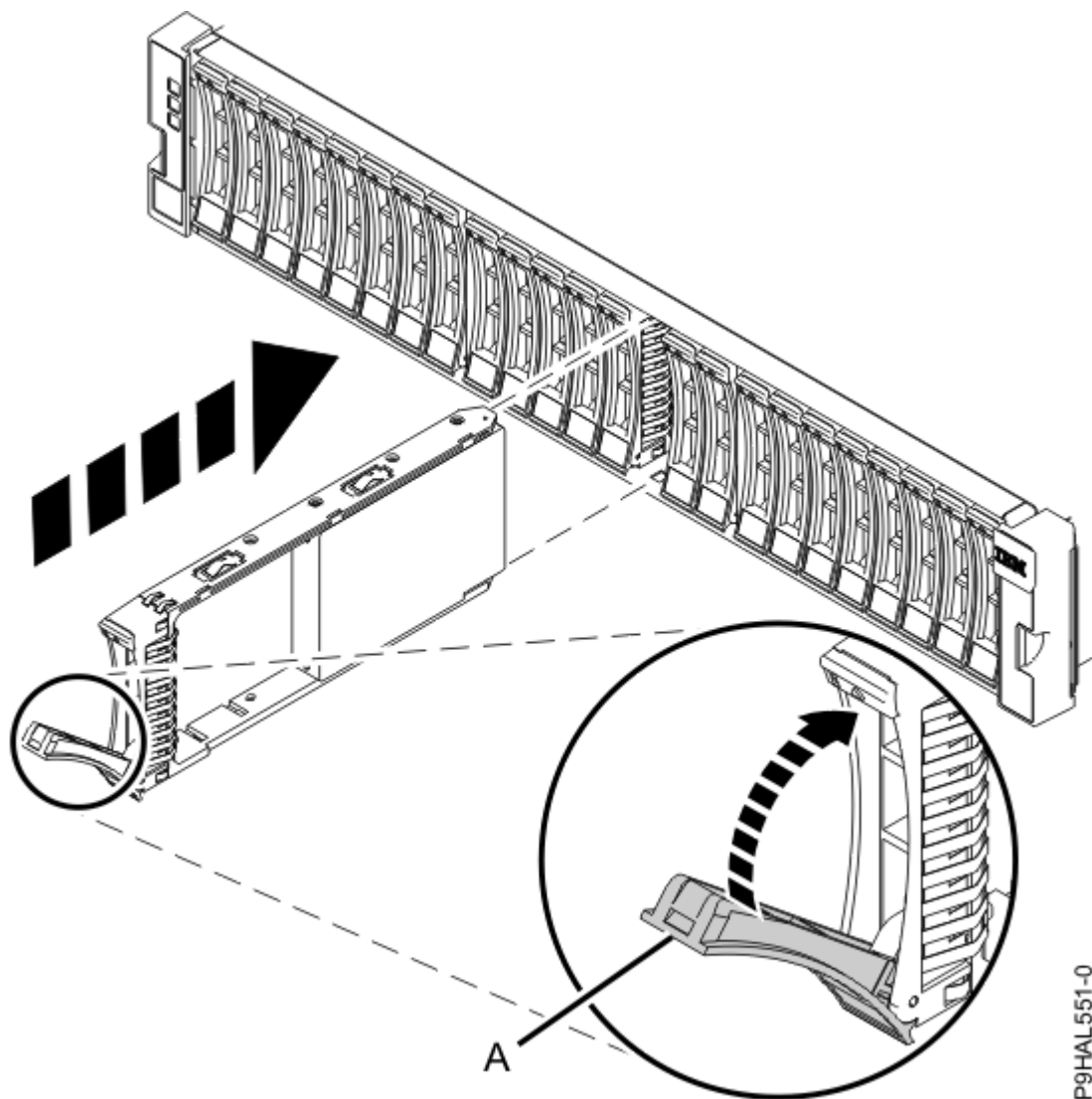


図 11. ESLS ストレージ・エンクロージャーへのドライブの取り付け

注：ハンドルだけをつかんでドライブを持たないでください。

4. ドライブが止まるまでドライブをスライドさせてストレージ・エンクロージャーに入れます。
5. ハンドル **(A)** をロック位置まで回転させます。
6. 複数のドライブを取り付ける場合、すべてのドライブが取り付けられるまで、この手順のステップを繰り返します。
7. このデバイスに関連する以下の情報を確認してください。

- ESLL ストレージ・エンクロージャーは、最大 12 個の Large Form Factor ディスク・ドライブを保持できます。
- ESLS ストレージ・エンクロージャーは最大 24 個の Small Form Factor ディスク・ドライブまたは SSD を保持できます。
- ESLS ストレージ・エンクロージャーは、1 つ、2 つ、または 4 つの独立したグループに分割できます。

ESLS ストレージ・エンクロージャーは、以下のオペレーティング・システムをサポートします。

- AIX®
- IBM I (ESLL ストレージ・エンクロージャーをサポートしません)
- Linux®

- VIOS

RAID アレイを構成する予定の場合は、RAID レベルごとに次の最小数のディスクを使用可能にしておく必要があります。

#### RAID 0

1 アレイごとに最小 1 ドライブ。

#### RAID 5

1 アレイごとに最小 3 ドライブ。

#### RAID 6

1 アレイごとに最小 4 ドライブ。

#### RAID 10

1 アレイごとに最小 2 ドライブ。

## システムへの ESLS ストレージ・エンクロージャの接続

シリアル接続 SCSI (SAS) ストレージ・エンクロージャをサポートするシステムに ESLS ストレージ・エンクロージャを接続するには、以下の手順のステップを実行します。

注：ESLS ストレージ・エンクロージャをサーバーに接続するのに使用されるケーブルは、5887 ディスク・ドライブ・エンクロージャで使用するケーブルとは別のものです。

1. 静電気放電 (ESD) リスト・ストラップを着用していること、および ESD クリップのプラグが接地されているジャックに差し込まれているか、またはクリップが塗装されていない金属面に接続されていることを確認します。そうでない場合は、ここで行ってください。
2. エンクロージャの背面のステッカーに印刷されている情報を使用して、工場出荷時に設定されたエンクロージャのモードを確認します。ステッカーは、シャーシ (A) の下方左側のシェルフ、およびエンクロージャ・サービス・マネージャー・モジュール (B) の間にある中央の支えに貼られています。ステッカーは、エンクロージャがモード 1、モード 2、またはモード 4 のいずれに設定されているかを示しています。

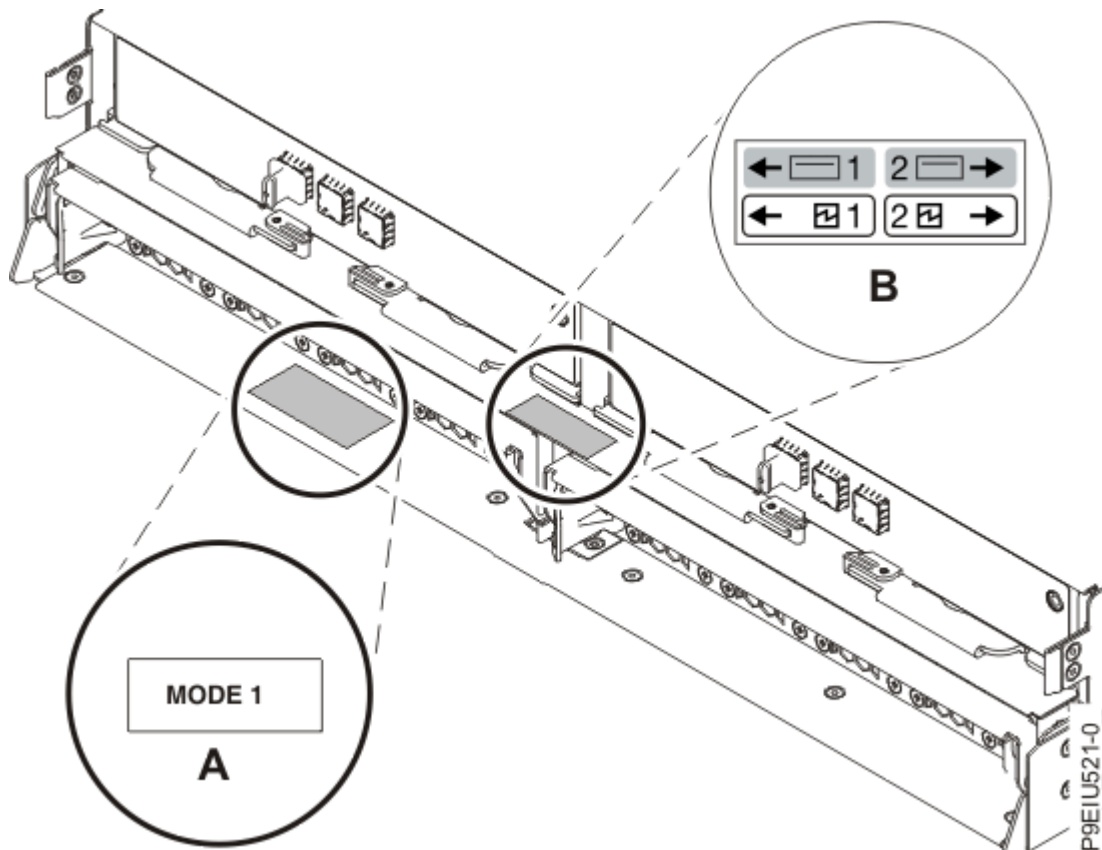


図 12. ESLS ストレージ・エンクロージャの背面のモード・ステッカーの位置

3. ESLS ストレージ・エンクロージャーに接続するために必要なすべてのアダプターが、システムまたは拡張装置に取り付け済みであることを確認します。アダプターが取り付けられていない場合は、この作業を続行する前に、ご使用のシステムまたは拡張装置のアダプター取り付け手順を完了してください。手順については、[PCIe アダプター \(http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10hak/pciadapters.htm\)](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10hak/pciadapters.htm) を参照してください。
4. エンクロージャーとの接続用の外部 SAS ポートを設けるために、システムに内部ケーブルを取り付ける必要がある場合、取り付けが完了したことを確認します。

**要確認:** 外部 SAS ポートを取り付けたり、その使用を確認したりするときは、システム上の外部 SAS ポートの位置を記録しておいてください。この手順の後の方で、このシステム・コネクタ位置に外部 SAS ケーブルを取り付けるように指示されます。

5. SAS アダプターを ESLS ストレージ・エンクロージャーにケーブル接続するのに使用する構成を確認します。以下のリストは、一部の一般的な接続を示していますが、可能な接続オプションをすべて示しているわけではありません。その他の構成オプションについては、[シリアル接続 SCSI ケーブルの計画 \(http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10had/p10had\\_sascabling.htm\)](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10had/p10had_sascabling.htm) を参照してください。

**注記:**

- システムがあり、PCIe スロットの C9 および C12 に FC EJ0K を取り付ける計画の場合、ESLS ストレージ・エンクロージャー用のモード 1 の接続はサポートされません。
- YO12 ケーブルを使用した、単一 SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続。
- YO12 ケーブルを使用した、単一 SAS アダプターへの 2 台の ESLL または ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続。
- 1 対の SAS アダプター・ペアへの YO12 ケーブルを使用した、1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続。
- SAS アダプター・ペアへの YO12 ケーブルを使用した、2 台の ESLL または ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続。
- YO12 ケーブルを使用した、2 つの独立 SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続。
- 2 本の YO12 ケーブルを使用した、システム内の PCIe スロット C12 にある単一の FC EJ0K SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続

**注:** このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。

- 2 本の YO12 ケーブルを使用した、システム内の PCIe スロット C09 および C12 にある 2 つの EJ0K SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続

**注:** このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。

- 4 本の YO12 ケーブルを使用した、システム内の PCIe スロット C09 および C12 にある 2 つの FC EJ0K SAS アダプターへの 2 台の ESLL ストレージ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続。

**注:** このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。

- 2 対の SAS アダプター・ペアへの X12 ケーブルを使用した、1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続。
- X12 ケーブルを使用した、4 つの独立 SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 4 接続。

6. エンクロージャーを接続するために使用する外部 SAS ケーブル用の各アダプターの接続を見つけます。アダプター・ケーブルは、アダプターが取り付けられているシステムの背面のポートに接続されます。
7. 次のいずれかを選択します。

- ESLS ストレージ・エンクロージャの接続先にするサーバーまたは拡張装置の電源がオフになっている場合は、ステップ 16 ページの『12』に進みます。
  - システムの電源がオンの場合、オペレーティング・システムでサポートされる機能に応じて、次のアクションのいずれかを実行する必要があります。
    - エンクロージャを接続するアダプターを構成解除する。
    - エンクロージャを接続するアダプターの電源をオフにする。
    - エンクロージャを接続するアダプターを所有する論理区画またはシステムの電源をオフにする。

これらの必須アクションのいずれかを実行するには、続けてステップ 16 ページの『8』に進みます。
8. ご使用のシチュエーションには、以下の条件が適用されますか?
- システム・モデルがスロット電源制御をサポートしていない。
  - アダプターが、スロット電源制御をサポートする入出力エンクロージャ内にはない。
  - 同じアダプター上に存在している可能性がある他のディスク装置への一時的アクセス喪失を許容できない。
  - はい: アダプターを所有するシステムまたは論理区画の電源をオフにします。手順については、[システムの停止 \(www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10haj/crustopsys.htm\)](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10haj/crustopsys.htm)を参照してください。次に、ステップ 16 ページの『12』に進みます。
  - いいえ: ステップ 16 ページの『9』に進みます。
9. 次のいずれかを選択します。
- SAS アダプターを構成解除できる場合は、ステップ 16 ページの『10』に進みます。
  - SAS アダプターを構成解除できない場合は、SAS アダプターの電源をオフにする必要があります。ステップ 16 ページの『11』に進みます。
10. SAS アダプターを構成解除するには、以下のステップを実行します。
- a) SAS アダプターを構成解除します。
  - b) 静電気放電 (ESD) リスト・ストラップを身に着けていることを確認します。身に着けていない場合は、ここで着けてください。
  - c) エンクロージャから SAS アダプターへ SAS ケーブルを接続します。
  - d) SAS アダプターを再構成します。
  - e) ステップ 16 ページの『12』に進みます。
11. SAS アダプターの電源をオフにするには、以下の手順を実行します。
- a) SAS アダプターの電源をオフにします。
  - b) 静電気放電 (ESD) リスト・ストラップを着用していること、および ESD クリップのプラグが接地されているジャックに差し込まれているか、またはクリップが塗装されていない金属面に接続されていることを確認します。そうでない場合は、ここで行ってください。
  - c) エンクロージャから SAS アダプターへ SAS ケーブルを接続します。
  - d) SAS アダプターの電源をオンにします。
  - e) SAS アダプターおよびデバイスを構成します。
  - f) 次のステップを続行します。
12. SAS アダプターをケーブル接続するために、以下のオプションのいずれかを選択します。
- 注: 構成図では、外部サーバーまたは拡張装置の接続を表す SAS アダプターの使用が示されています。このアダプターは、以下のいずれかの接続タイプを表しています。
- ステップ 15 ページの『6』で確認したアダプターの外部ポート。
  - ステップ 15 ページの『4』で確認した内部アダプター・ケーブルの外部ポート。

注: エンクロージャーを接続するために使用する外部 SAS ケーブル用の各アダプターの接続を見つめます。アダプター・ケーブルは、アダプターが取り付けられているシステムの背面のポートに接続されます。

- YO12 ケーブルを使用した、単一の FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M の SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続を行う場合は、ステップ [17 ページの『13』](#)に進みます。
- YO12 ケーブルを使用した、単一 FC EJ0L SAS アダプターまたは FC EJ14 SAS アダプターへの 2 台の ESLL ストレージ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続を行う場合は、ステップ [18 ページの『14』](#)に進みます。
- YO12 ケーブルを使用した、1 対の EJ0L SAS アダプター・ペアまたは FC EJ14 SAS アダプター・ペアへの 1 台の ESLL ストレージ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続を行う場合は、ステップ [19 ページの『15』](#)に進みます。
- 2 本の YO12 ケーブルを使用した、アダプター間 AA12 ケーブル付きの 9040-MR9 システム内の PCIe スロット C09 および C12 にある 1 つの FC EJ14 SAS アダプター・ペアへの 1 台のエンクロージャーのモード 1 接続を実行するには、ステップ [21 ページの『17』](#)に進みます。
- YO12 ケーブルを使用した、1 対の EJ0L SAS アダプター・ペアまたは FC EJ14 SAS アダプター・ペアへの 2 台の ESLL ストレージ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続を行う場合は、ステップ [20 ページの『16』](#)に進みます。
- YO12 ケーブルを使用した、2 つの独立した FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M の SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続を行う場合は、ステップ [22 ページの『18』](#)に進みます。
- システムのスロット C12 にある 1 台の FC EJ0K SAS アダプターへ、2 本の YO12 ケーブルを使用して ESLS ストレージ・エンクロージャー 1 台のモード 2 接続を完了するには、ステップ [23 ページの『19』](#)に進みます。

注: このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。

- システムのスロット C09 および C12 にある 1 台の FC EJ0K SAS アダプターへ、2 本の YO12 ケーブルを使用して ESLS ストレージ・エンクロージャー 1 台のモード 2 接続を完了するには、ステップ [24 ページの『20』](#)に進みます。

注: このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。

- システムのスロット C09 および C12 にある 2 台の FC EJ0K SAS アダプターへ、4 本の YO12 ケーブルを使用して ESLL または ESLS ストレージ・エンクロージャー 2 台のモード 2 接続を完了するには、ステップ [25 ページの『21』](#)に進みます。

注: このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。

- 2 対の FC EJ0L SAS アダプター・ペアまたは 2 対の FC EJ14 ペアへの X12 ケーブルを使用した、1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続を行う場合は、ステップ [26 ページの『22』](#)に進みます。
- X12 ケーブルを使用した、4 つの独立した FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M の SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続を行う場合は、ステップ [27 ページの『23』](#)に進みます。

SAS 構成の必要条件がこれらのいずれのオプションでもサポートされない場合は、ステップ [29 ページの『24』](#)に進みます。

13. 次に、YO12 ケーブル **(B)** を使って 1 台のエンクロージャー **(A)** を 1 台の FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M SAS アダプター **(C)** を [18 ページの図 13](#) に示すようにモード 1 接続をして、引き続き、[29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』](#)に進みます。

注: 単一の FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M SAS アダプター **(C)** は、12 個または 24 個のドライブ・ベイにアクセスできます。



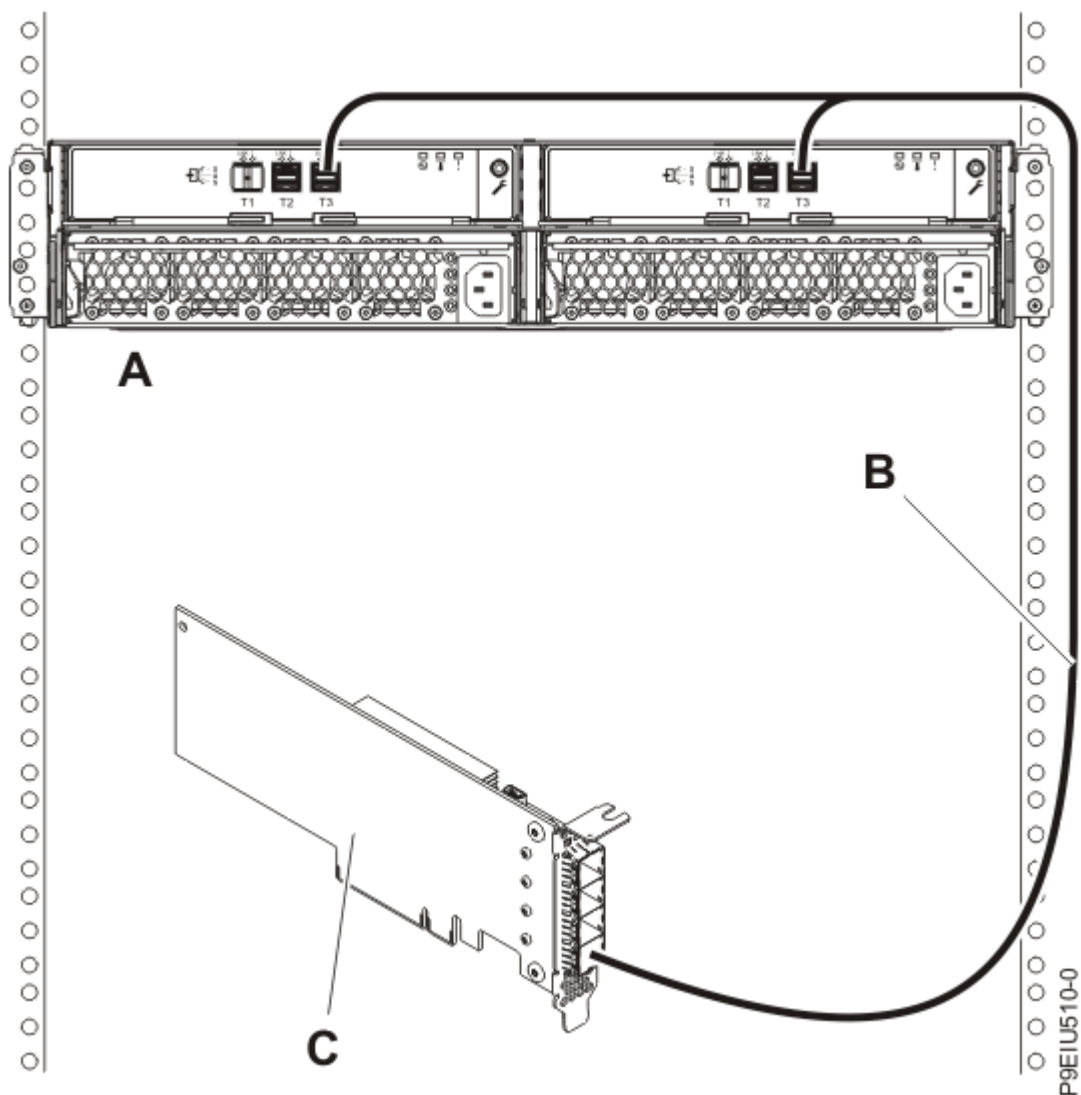


図 13. YO12 ケーブルを使用した、単一の FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M の SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャのモード 1 接続

14. 次に、YO12 ケーブル (C および D) を使って 2 台のエンクロージャ (A および B) を 1 台の FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M SAS アダプター (E) を 19 ページの図 14 に示すようにモード 1 接続をして、引き続き、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

注：単一 SAS アダプター (E) は、24 個または 48 個のドライブ・ベイのすべてにアクセスできます。



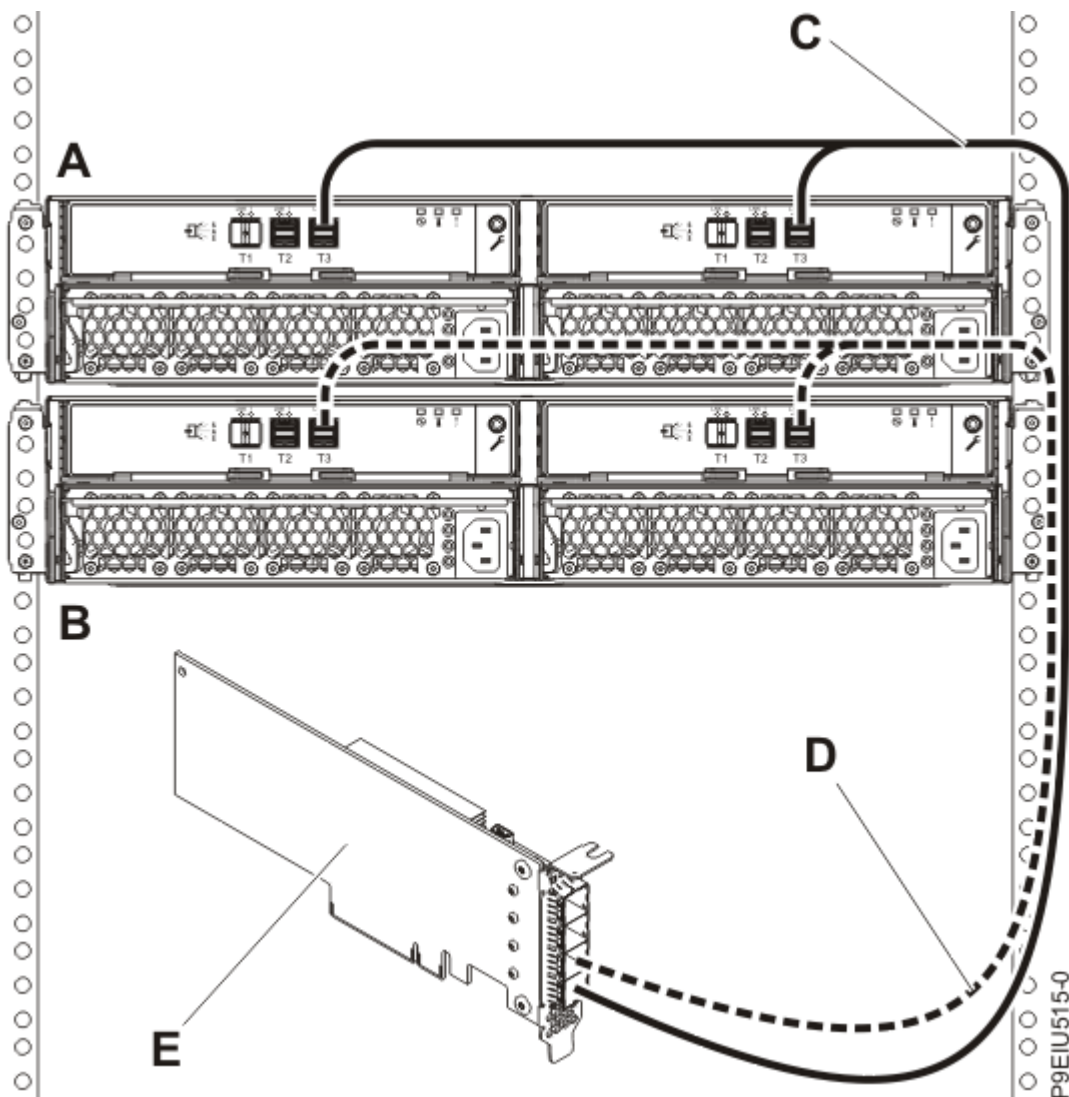


図 14. YO12 ケーブルを使用した、単一の FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M の SAS アダプターへの 2 台の ESLL ストレージ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続

15. 次に、20 ページの図 15 に示すように、YO12 ケーブル (B) を利用して、FC EJ0L SAS アダプター・ペアまたは FC EJ14 SAS アダプター・ペア (C) とアダプター間 (AA) ケーブル (D) を接続し、1 台のエンクロージャー (A) のモード 1 接続を完了し、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

**注記：**

- SAS アダプター・ペア (C) の各アダプターは、他方のアダプターおよび 12 個または 24 個のドライブ・ベイのすべてにアクセスできます。
- SAS アダプター・ペアの場合、ケーブルを両方のアダプターで同じポートに接続する必要があります。
- 短いケーブル・レグを両方ともエンクロージャーの同じ側面に取り付け、長いケーブル・レグを両方ともエンクロージャーのもう一方の側面に取り付ける必要があります。

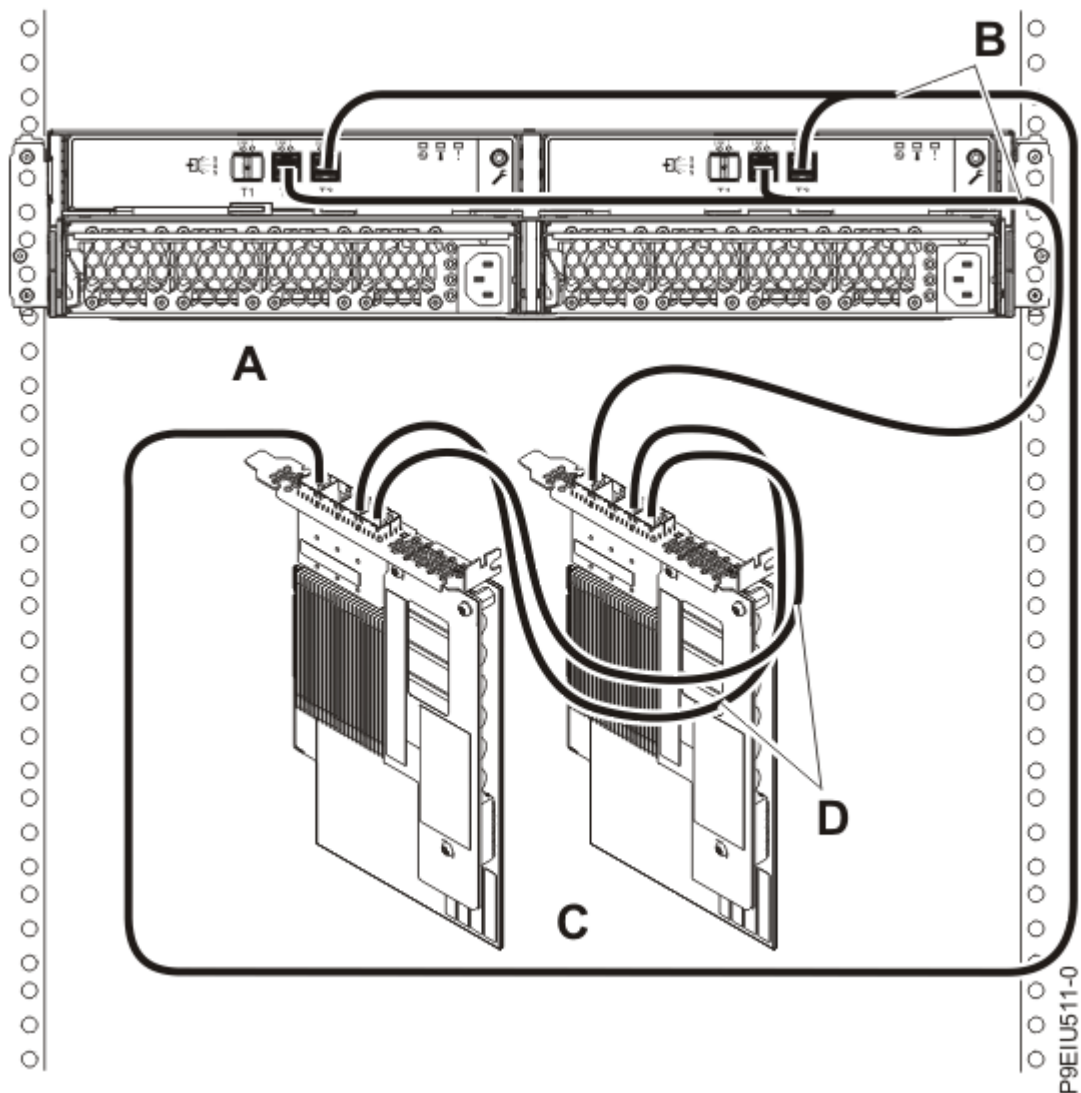


図 15. AA ケーブル付きの 1 対の FC EJ0L SAS アダプター・ペアまたは FC EJ14 SAS アダプター・ペアへの YO12 ケーブルを使用した、1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャのモード 1 接続

16. 次に、21 ページの図 16 に示すように、YO12 ケーブル (C および D) を利用して、FC EJ0L SAS アダプター・ペアまたは FC EJ14 SAS アダプター・ペア (E) と AA ケーブル (F) を接続し、2 台のエンクロージャ (A および B) のモード 1 接続を完了し、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

**注記：**

- SAS アダプター・ペア (E) の各アダプターは、他方のアダプターおよび 24 個または 48 個のドライブ・ベイのすべてにアクセスできます。
- SAS アダプター・ペアの場合、ケーブルを両方のアダプターで同じポートに接続する必要があります。
- 短いケーブル・レグを両方ともエンクロージャの同じ側面に取り付け、長いケーブル・レグを両方ともエンクロージャのもう一方の側面に取り付ける必要があります。

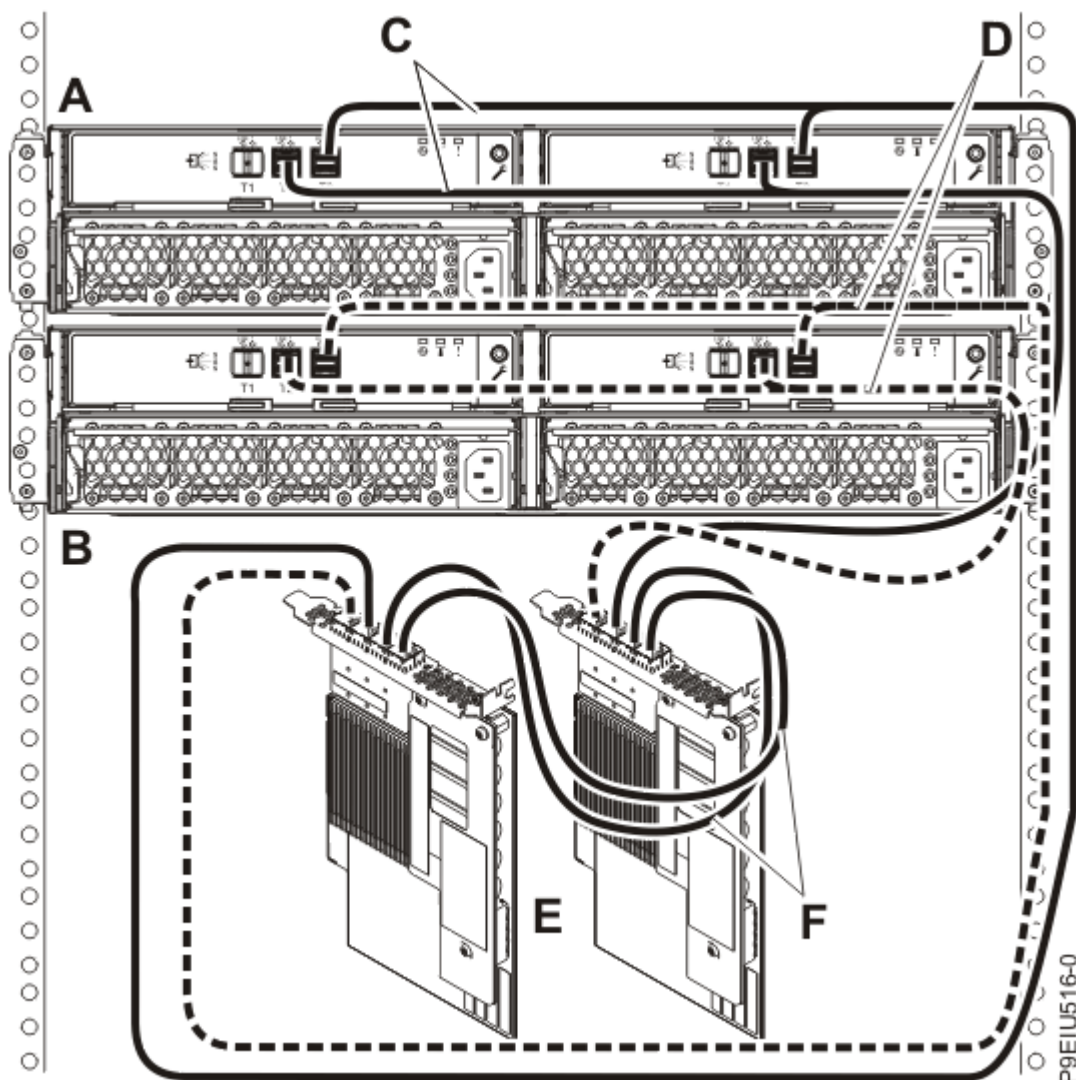


図 16. AA ケーブル付きの 1 対の FC EJ0L SAS アダプター・ペアまたは FC EJ14 SAS アダプター・ペアへの Y012 ケーブルを使用した、2 台の ESSL ストレージ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続

17. 次に 22 ページの図 17 に示すように、Y012 ケーブル (B) を利用して、PCIe スロット C09 にある EJ14 SAS アダプター・ペア (C) と 9040-MR9 システムにある C12 にアダプター間 AA12 ケーブル (D) で 1 台のエンクロージャー (A) のモード 1 接続し、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

**注記：**

- SAS アダプター・ペア (C) の各アダプターは、他方のアダプターおよび 12 個または 24 個のドライブ・ベイのすべてにアクセスできます。
- SAS アダプター・ペアの場合、ケーブルを両方のアダプターで同じポートに接続する必要があります。
- 短いケーブル・レグを両方ともエンクロージャーの同じ側面に取り付け、長いケーブル・レグを両方ともエンクロージャーのもう一方の側面に取り付ける必要があります。
- アダプター (T0、T1) の 2 つの下段ポートは、内部ドライブ・ベイのケーブル接続専用です。
- このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システム・システムの場合にのみサポートされます。

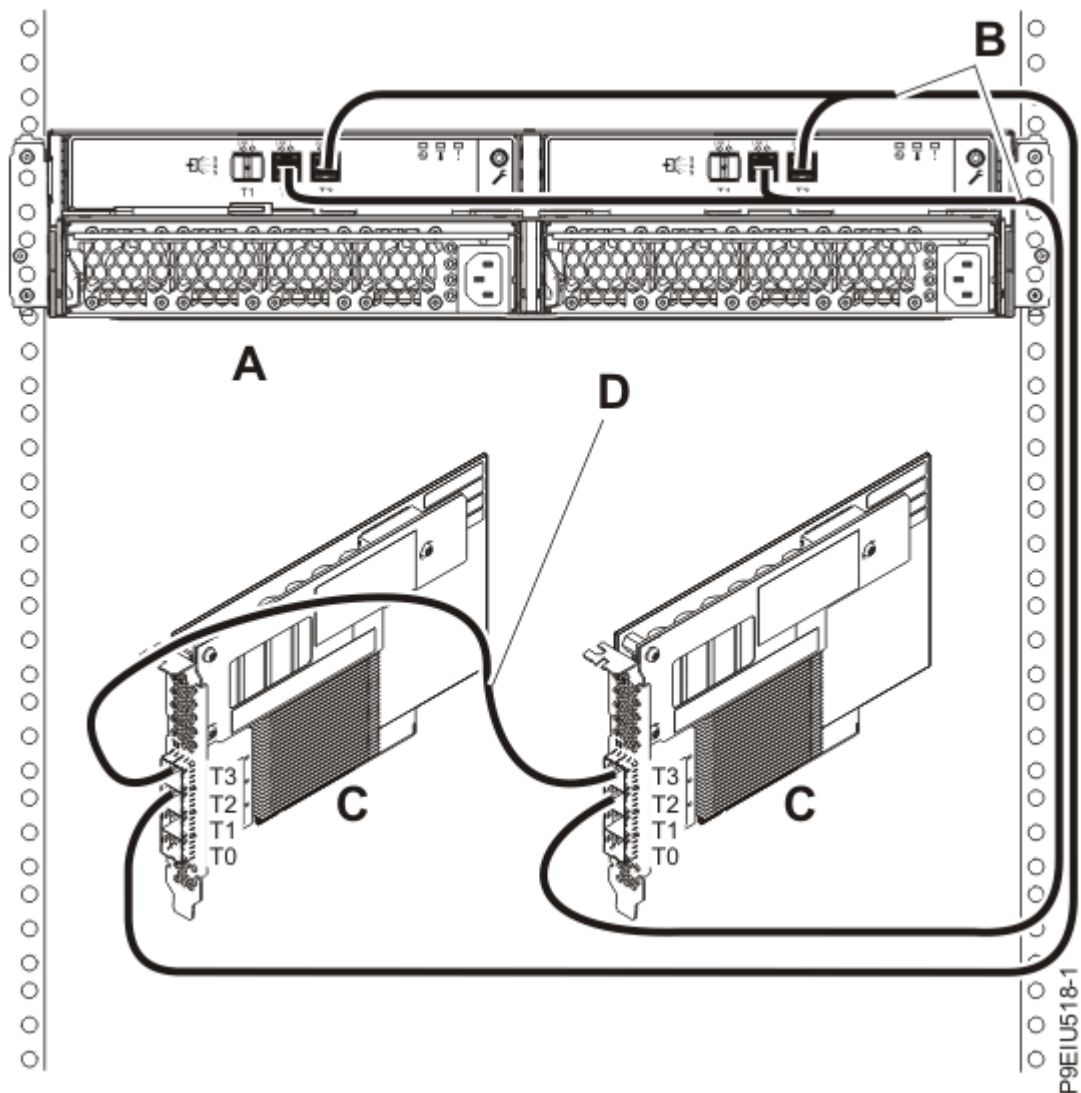


図 17. YO12 ケーブルを使用した、アダプター間 AA12 ケーブル付きの 9040-MR9 システム内の PCIe スロット C09 および C12 にある 1 つの FC EJ14 SAS アダプター・ペアへの 1 台の ESLL ストレージ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 1 接続

18. 23 ページの図 18 に示すように、1 台のエンクロージャー (A) を YO12 ケーブル (B) で 2 台の独立した FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M SAS アダプター (C および D) にモード 2 接続します。その後、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

**注記：**

- 独立 SAS アダプター 1 (C) は他の独立アダプターにはアクセスできず、ドライブ・ベイ D1 から D12 にのみアクセスできます。
- 独立 SAS アダプター 2 (D) は他の独立アダプターにはアクセスできず、ドライブ・ベイ D13 から D24 にのみアクセスできます。

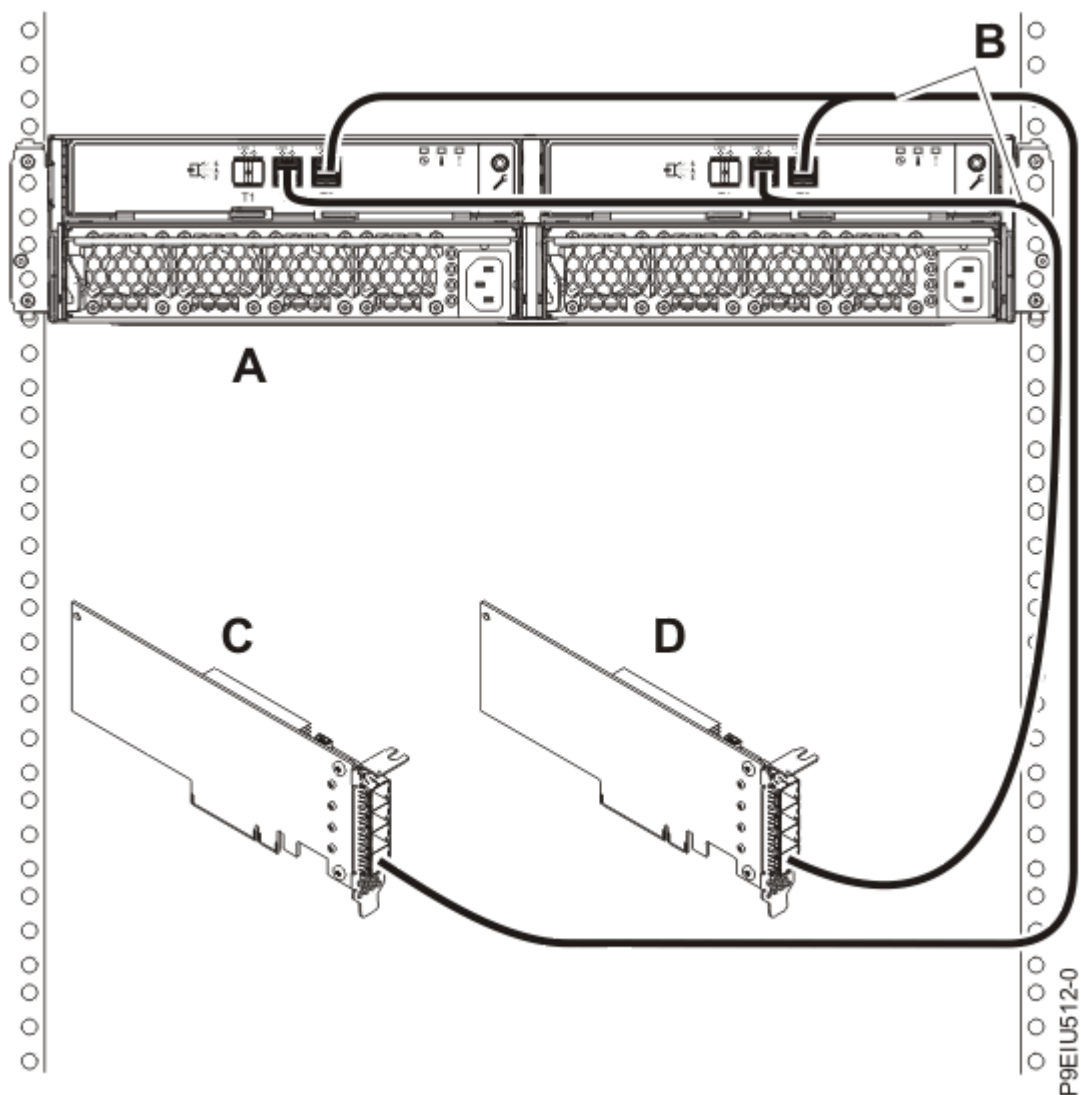


図 18. YO12 ケーブルを使用した、独立した FC EJ0J、FC EJ0K、または FC EJ0M の SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャのモード 2 接続

19. 24 ページの図 19 に示すように、1 台のエンクロージャ (A) を 2 本の YO12 ケーブル (B) で、システム内の PCIe スロット C12 にある FC EJ0K アダプター (C) にモード 2 接続します。その後、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

**注記：**

- アダプター (T0、T1) の 2 つの下段ポートは、内部ドライブ・ベイのケーブル接続専用です。
- このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。



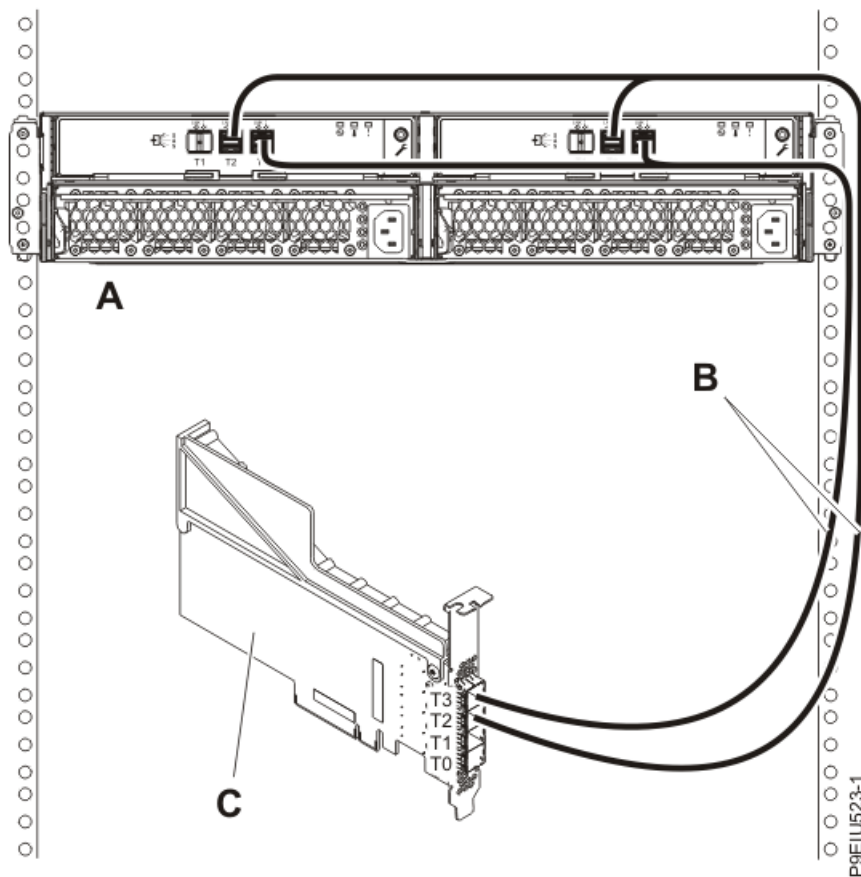


図 19. 2 本の Y012 ケーブルを使用した、システム内の PCIe スロット C12 にある FC EJ0K SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャのモード 2 接続

20. 25 ページの図 20 に示すように、1 台のエンクロージャ (A) を 2 本の Y012 ケーブル (B) で、システム内の PCIe スロット C09 と C12 にある FC EJ0K アダプター (C) にモード 2 接続します。その後、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

**注記：**

- アダプター (T0、T1) の 2 つの下段ポートは、内部ドライブ・ベイのケーブル接続専用です。
- このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。

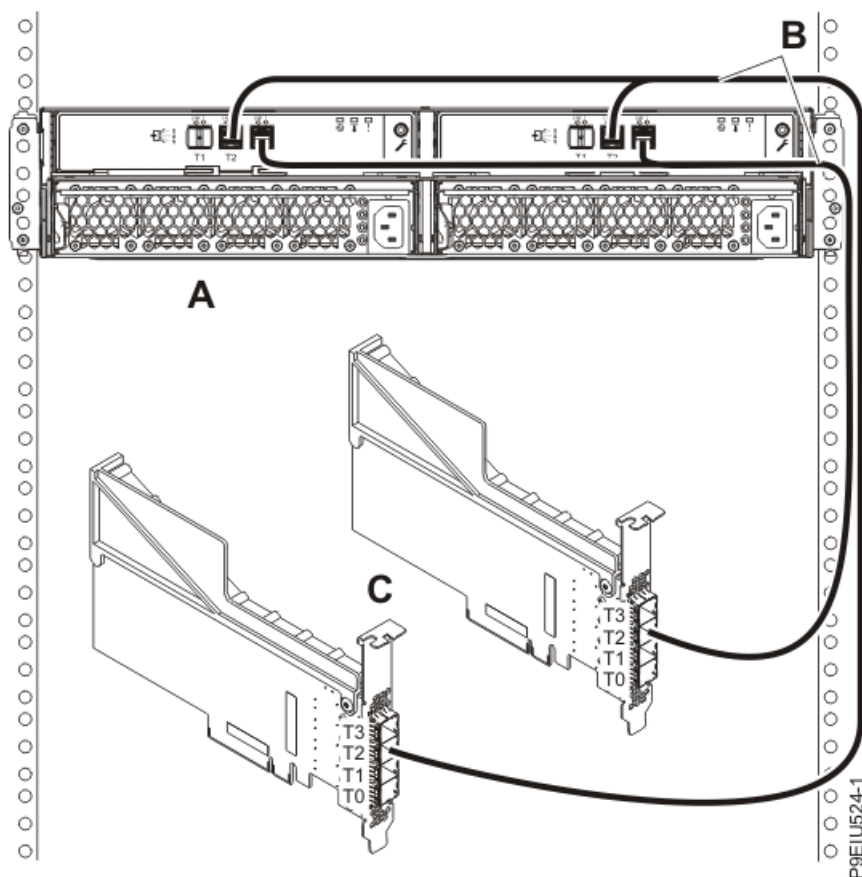


図 20. 2 本の Y012 ケーブルを使用した、システム内の PCIe スロット C09 および C12 にある 2 つの FC EJ0K SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャー のモード 2 接続

21. 26 ページの図 21 に示すように、1 台のエンクロージャー (A) を 4 本の Y012 ケーブル (B) で、システム内の PCIe スロット C09 と C12 にある FC EJ0K アダプター (C) にモード 2 接続します。その後、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

**注記：**

- アダプター (T0、T1) の 2 つの下段ポートは、内部ドライブ・ベイのケーブル接続専用です。
- このオプションは、AIX オペレーション・システムまたは Linux オペレーション・システムの場合にのみサポートされます。



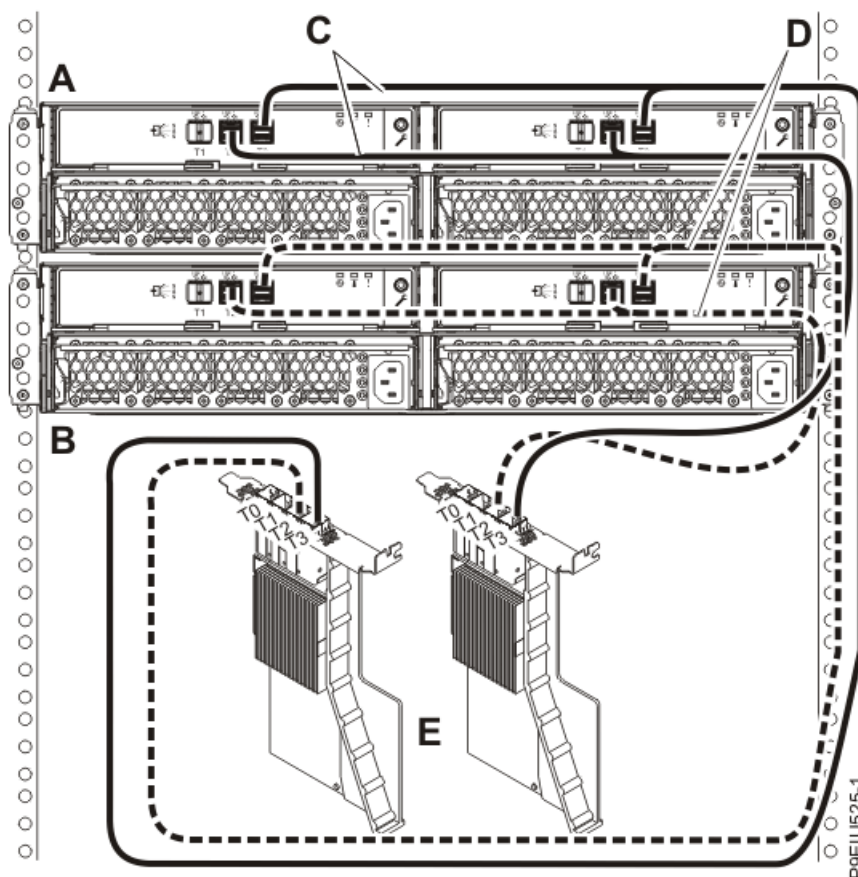


図 21. 4本の Y012 ケーブルを使用した、システム内の PCIe スロット C09 および C12 にある 2つの FC EJ0K SAS アダプターへの 2 台の ESLL ストレージ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーのモード 2 接続

22. 27 ページの図 22 に示すように、X12 ケーブル (B) を使用して、2 台の FC EJ0L SAS アダプター・ペア、または AA ケーブル (E) を使用した 2 台の FC EJ14 SAS アダプター・ペア (C および D) を接続し、1 台のエンクロージャー (A) のモード 2 接続をします。その後、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

**注記：**

- SAS アダプター・ペア 1 (C) の各アダプターは、ペア 1 の他方のアダプターおよびドライブ・ベイ D1 から D12 にアクセスできます。
- SAS アダプター・ペア 2 (D) の各アダプターは、ペア 2 の他方のアダプターおよびドライブ・ベイ D13 から D24 にアクセスできます。
- SAS アダプター・ペアの場合、ケーブルを両方のアダプターで同じポートに接続する必要があります。
- 短いケーブル・レグを両方ともエンクロージャーの同じ側面に取り付け、長いケーブル・レグを両方ともエンクロージャーのもう一方の側面に取り付ける必要があります。

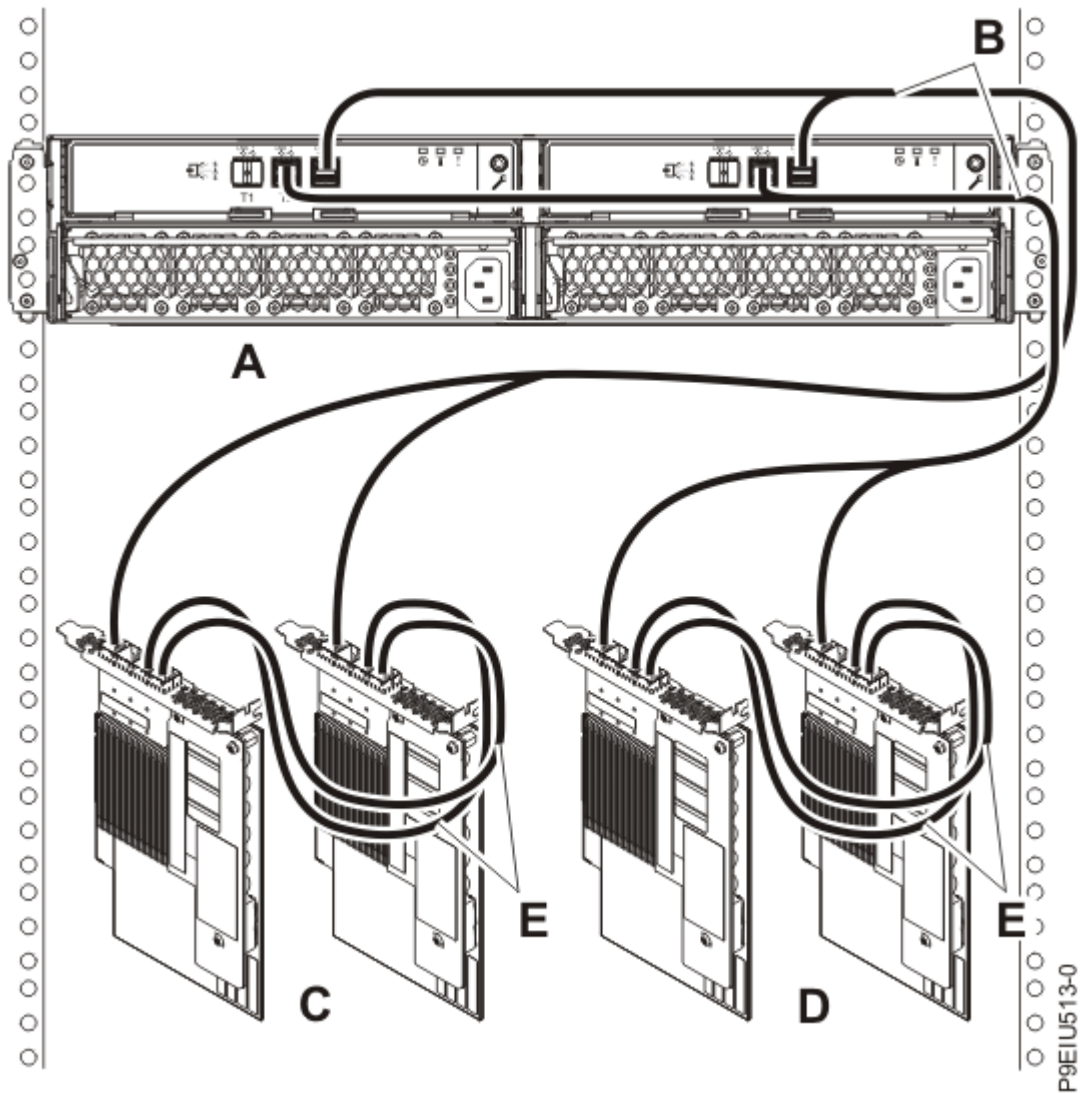


図 22. AA ケーブル付きの 2 対の FC EJ0L SAS アダプター・ペアまたは 2 対の FC EJ14 SAS アダプター・ペアへの X12 ケーブルを使用した、1 台の ESLS のモード 2 接続

23. 4 つの独立した FC EJ0J または FC EJ0M の SAS アダプターへの X12 ケーブル (B) を使用した、1 台のエンクロージャー (A) のモード 4 接続を実行します (28 ページの図 23 を参照)。その後、29 ページの『ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け』に進みます。

注：これらのケーブル ID のラベルの例については、29 ページの図 24 を参照してください。

- 独立 SAS アダプター 1 (C) に接続するケーブルには、P1 識別子 (G) をもつラベルが付けられています。このアダプターは他の独立アダプターにはアクセスできず、ドライブ・ベイの D1 から D6 (ESLL の場合は D1 から D3) にのみアクセスできます。
- 独立 SAS アダプター 2 (D) に接続するケーブルには、P2 識別子 (G) をもつラベルが付けられています。このアダプターは他の独立アダプターにはアクセスできず、ドライブ・ベイの D7 から D12 (ESLL の場合は D4 から D6) にのみアクセスできます。
- 独立 SAS アダプター 3 (E) に接続するケーブルには、P1 識別子 (G) をもつラベルが付けられています。このアダプターは他の独立アダプターにはアクセスできず、ドライブ・ベイの D13 から D18 (ESLL の場合は D7 から D9) にのみアクセスできます。
- 独立 SAS アダプター 4 (F) に接続するケーブルには、P2 識別子 (G) をもつラベルが付けられています。このアダプターは他の独立アダプターにはアクセスできず、ドライブ・ベイの D19 から D24 (ESLL の場合は D10 から D12) にのみアクセスできます。

注：部分的なモード 4 構成は、X12 ケーブルのアダプター端が接続されていないアダプターが 3 台以下であればサポートされます。

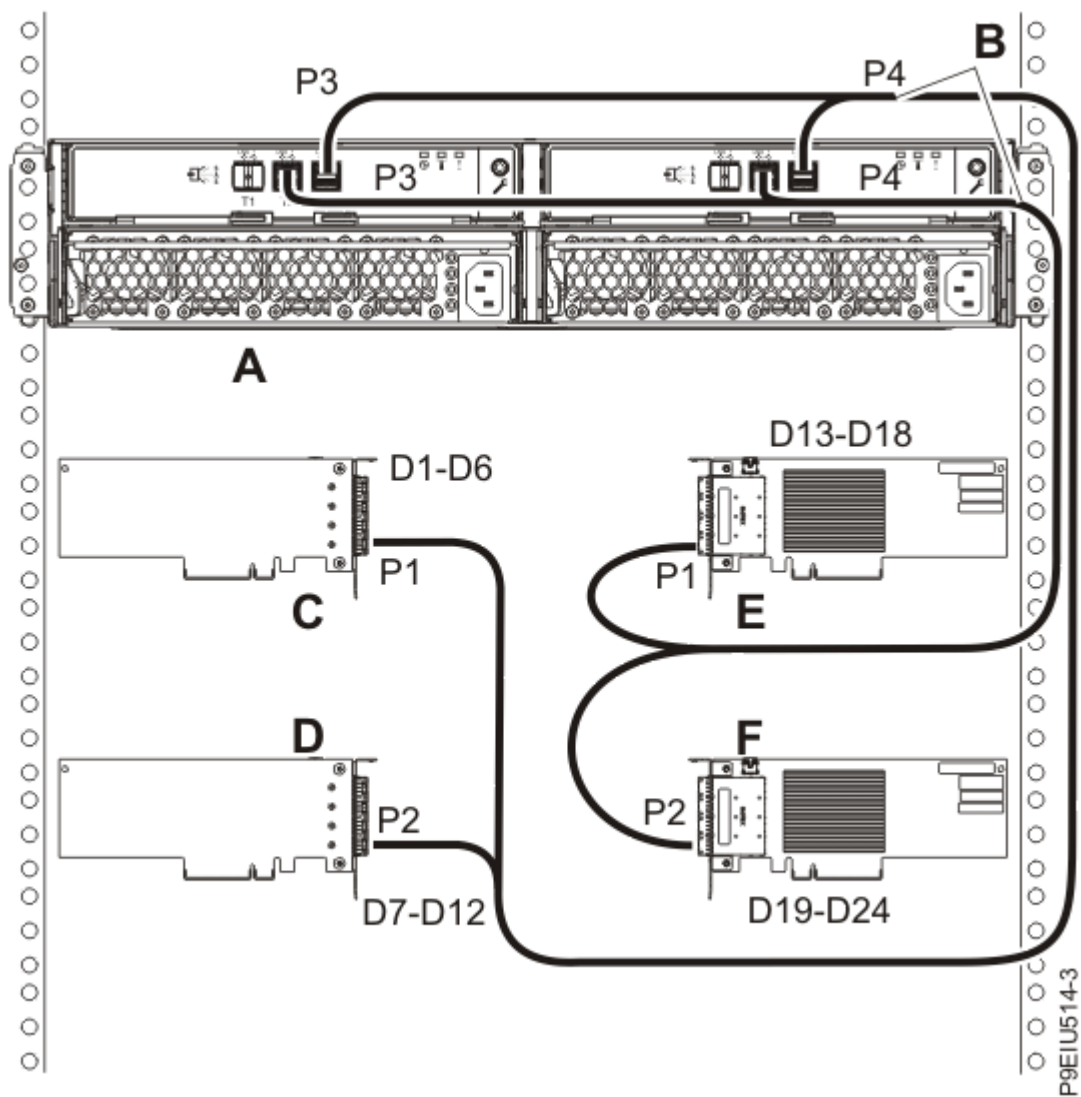


図 23. X12 ケーブルを使用した、4 つの独立した FC EJ0J または FC EJ0M の SAS アダプターへの 1 台の ESLS ストレージ・エンクロージャのモード 4 接続

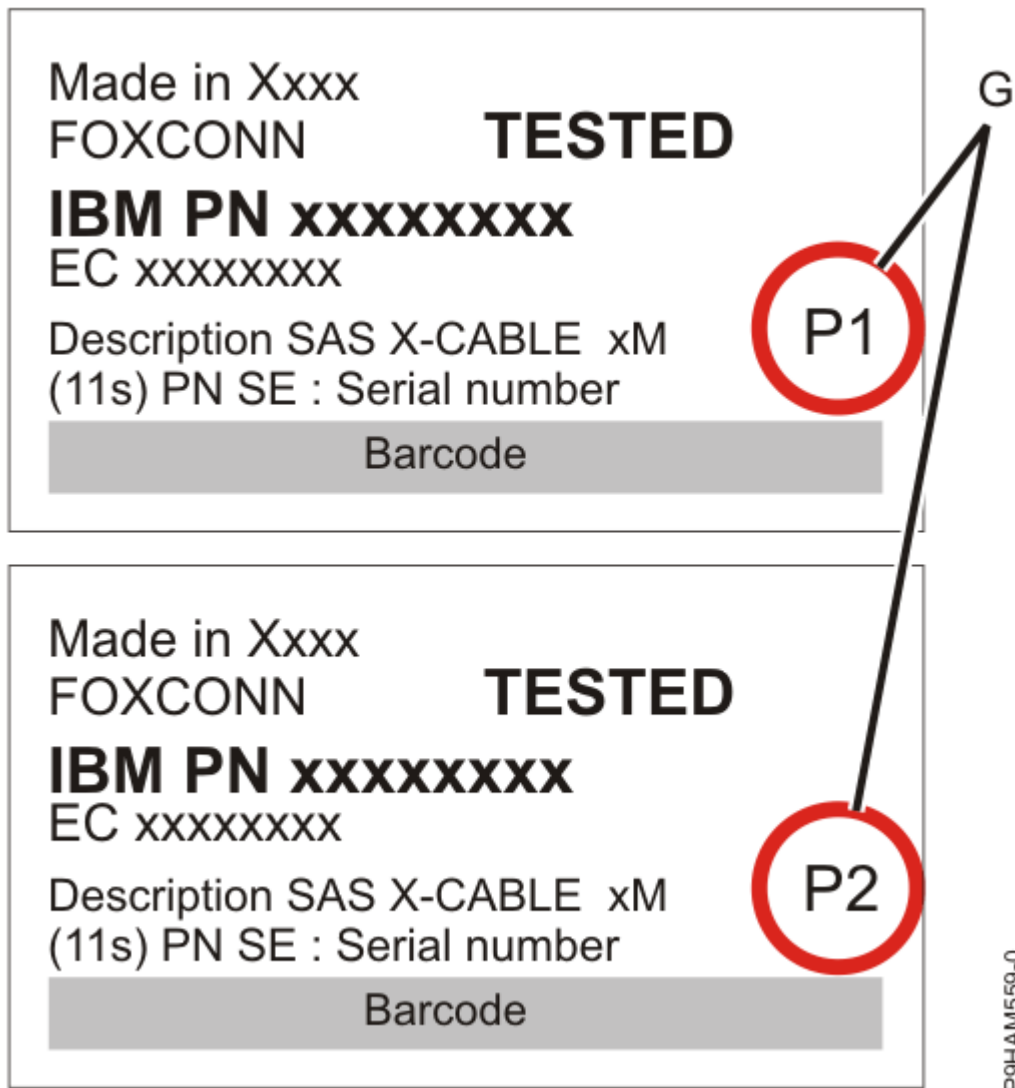


図 24. P1 および P2 識別子を示す SAS アダプター・ケーブルのラベル

24. SAS ケーブル接続およびケーブル接続の構成について詳しくは、[ケーブル管理 \(www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10had/p10had\\_cablemanagement.htm\)](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10had/p10had_cablemanagement.htm) を参照してください。

## ケーブルと電源コードの接続およびカバーの取り付け

ケーブルを再接続し、電源コードを取り付け、サイド・カバーを取り付けるには、以下の手順のステップを実行します。

1. 静電気放電 (ESD) リスト・ストラップを着用していること、および ESD クリップのプラグが接地されているジャックに差し込まれているか、またはクリップが塗装されていない金属面に接続されていることを確認します。そうでない場合は、ここで行ってください。
2. ご使用の取り付け要件に ESM からの SAS ケーブルの取り外しが含まれていた場合、記入したラベルを確認し、ケーブルを再取り付けします。

注：指示されるまで、電源を入れないでください。

3. 次の図に示すように、電源コードを、ストレイン・リリーフ用の電源コード保持ブラケット (D) を通して配線します。

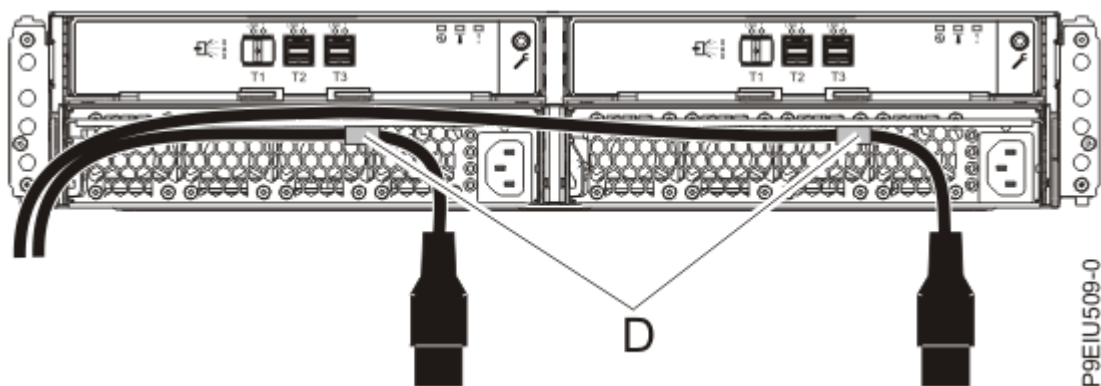


図 25. コード保持ブラケットを使用した電源コードの配線  
4. 電源コードを左右の電源装置に接続します。

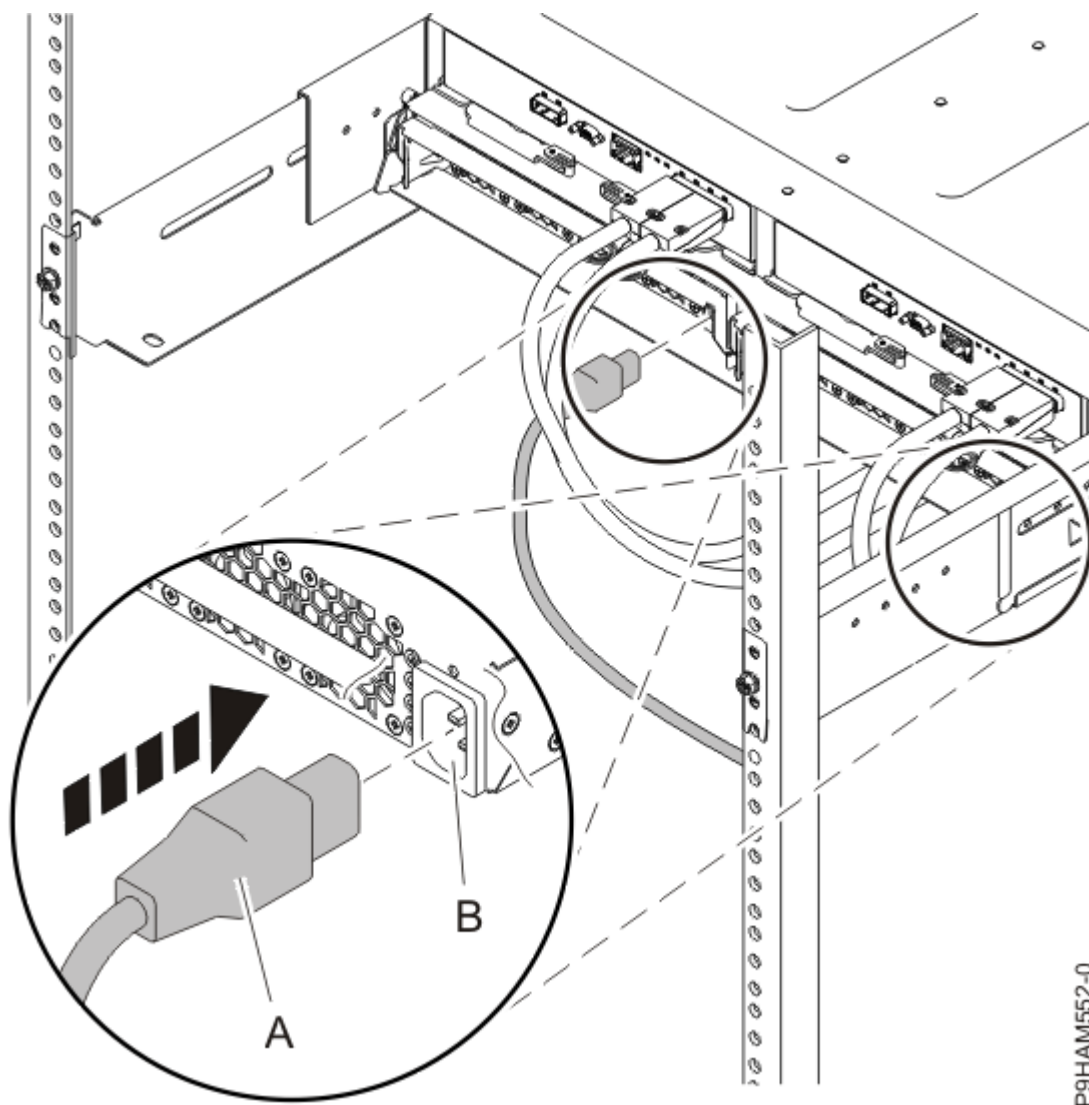


図 26. 電源コードの接続  
5. 左側のカバー **(A)** (サービス・インジケータを内蔵) と右側のカバー **(B)** を再取り付けします。  
a. カバー上部のスロットをシャーシ・フランジ上のタブにはめ込みます。  
b. 所定の位置に収まるまで、カバーを回転させます。カバーの内側の面がシャーシにぴったり重なるようにしてください。



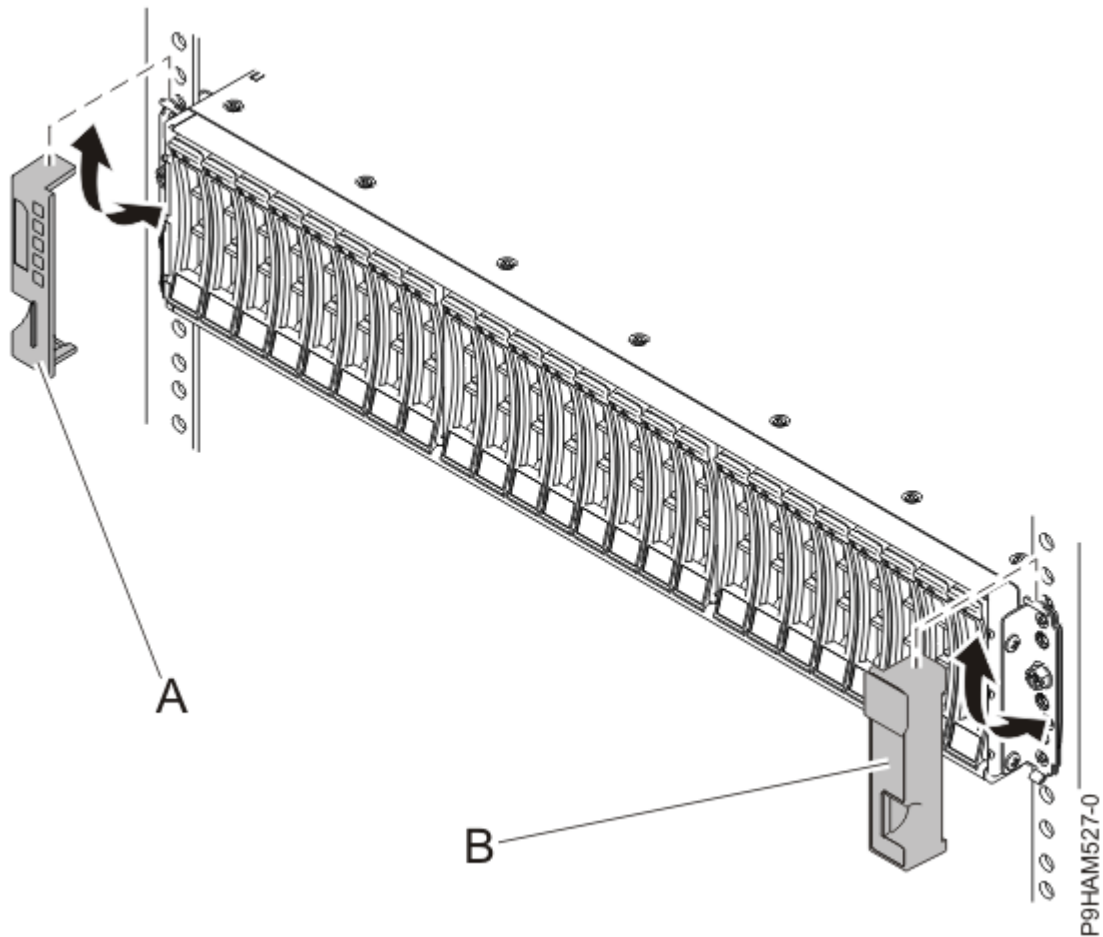


図 27. サイド・カバーの取り付け

6. 以下のオプションから選択します。
  - a) ストレージ・エンクロージャのケーブルを接続する前にシステムまたは論理区画のどちらかの電源をオフにした場合は、システムまたは区画の電源を入れます。
  - b) システムまたは区画の電源遮断をしなかった場合は、この手順の始めに選択したオプションに応じて、アダプターの再構成が必要になることがあります。
7. 電源ケーブルの他方の端を電力配分装置 (PDU) に接続します。
8. 以下のオプションから選択します。
  - a) ストレージ・エンクロージャのケーブルを接続する前にシステムまたは論理区画のどちらかの電源をオフにした場合は、システムまたは区画の電源を入れます。
  - b) システムまたは区画の電源遮断をしなかった場合は、この手順の始めに選択したオプションに応じて、アダプターの再構成が必要になることがあります。

## ESLS ストレージ・エンクロージャの取り付けの完了

取り付けプロセスを完了するには、この手順のステップを完了します。

1. システムまたは論理区画がディスク・ドライブ・エンクロージャを認識することを確認するには、[取り付け済み部品の検査 \(www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10haj/pxhaj\\_hsmverify.htm\)](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10haj/pxhaj_hsmverify.htm)を参照してください。
2. これで、ESLS ストレージ・エンクロージャを取り付ける手順は完了しました。  
別の手順からこの手順に進んだ場合は、その手順に戻ってください。





## 参照情報

ストレージ・エンクロージャの取り付けと構成の作業を行うために、必要に応じてこのセクションの情報を使用してください。

## システムの始動

サービス・アクションを実行した後、またはシステムをアップグレードした後にシステムを始動する方法について説明します。

### HMC によって管理されていないシステムの始動

電源ボタンまたは Advanced System Management Interface (ASMI) を使用すると、Hardware Management Console (HMC) が管理していないシステムを始動することができます。

### コントロール・パネルを使用したシステムの始動

コントロール・パネルの電源ボタンを使用して、Hardware Management Console (HMC) によって管理されていないシステムを始動することができます。

1. 必要であれば、ラックの前面ドアを開きます。
2. コントロール・パネルの電源ボタンを押す前に、次のようにして、システム装置に電源が接続されていることを確認します。
  - すべてのシステム電源ケーブルが電源に接続されている。
  - 次の図に示す電源 LED (A) が明滅している。
3. [33 ページの図 28](#) に示すように、コントロール・パネル上の電源ボタン (A) を押します。



図 28. コントロール・パネルの LED

4. 電源ボタンを押した後、以下のことを確認します。
  - ライトが緑色に常時点灯している場合、装置に完全なシステム電源が供給されていることを示します。
  - ライトが緑色に明滅している場合、装置にスタンバイ電源が供給されていることを示します。
  - 電源オン・ボタンを押すと、システムでは、約 30 秒で電源 LED が明滅から常時点灯に変わります。この移行段階では、LED がより速く明滅する場合があります。
5. 以下のオプションから選択します。
  - 区画が始動した場合、これで手順は終わりです。
  - 区画が始動しない場合、[ステップ 34 ページの『6』](#)に進みます。

6. 「ASMI へようこそ」 ペインで、ご使用のユーザー ID とパスワードを入力して、「**ログイン**」をクリックします。
7. ナビゲーション領域で、「**電源/再始動制御**」 > 「**システムの電源オン/オフ**」をクリックします。
8. 「**設定を保管してシステム・サーバー・ファームウェアを続行**」をクリックします。

## ASMI を使用したシステムの始動

Advanced System Management Interface (ASMI) を使用して、Hardware Management Console (HMC) によって管理されないシステムを始動できます。

ご使用のシステムでは、2つのバージョンの ASMI を使用できます。使用する ASMI のバージョンは、ご使用のマシンのタイプとモデルによって異なります。

### 9080-HEX

1. 「ASMI へようこそ」 ペインで、ユーザー ID とパスワードを指定し、「**ログイン**」をクリックします。
2. ナビゲーション領域で、「**電源/再始動制御**」 > 「**システムの電源オン/オフ**」をクリックします。システムの電源状態が表示されます。
3. 必要に応じて設定値を指定し、「**設定を保管して電源オン**」をクリックします。以下のオプションから選択します。
  - サーバー・ファームウェア始動ポリシーが「**実行中 (常に自動始動)**」に設定されている場合、ご使用の区画は始動します。これで手順は終了です。
  - 「サーバー・ファームウェア始動ポリシー」が「**スタンバイ (ユーザーによる開始)**」または「**自動始動 (自動再始動のみ)**」に設定されている場合、システムの電源オンが始まりますが、区画は自動的に始動しません。ステップ 34 ページの『4』に進みます。
4. システムの電源オンを待機します。
5. ナビゲーション領域で、「**電源/再始動制御**」 > 「**システムの電源オン/オフ**」をクリックします。システム電源設定が表示されます。「**現在のシステム・サーバー・ファームウェアの状態**」は「**スタンバイ**」になっているはずです。
6. 「**設定の保管**」をクリックし、システム・サーバー・ファームウェアのブート操作を続行して、区画を始動します。

### その他のすべてのシステム

1. ASMI にログオンします。詳しくは、を参照してください。
2. ASMI のナビゲーション領域で、「**操作**」 > 「**サーバーの電源操作**」をクリックします。システムの電源状態が表示されます。
3. 「**操作**」の下で「**電源オン**」をクリックします。システムの電源オンを待機します。

## HMC を使用したシステムまたは論理区画の始動

必要なケーブルを取り付け、電源ケーブルを電源に接続した後、Hardware Management Console (HMC) を使用して、システムまたは論理区画を始動することができます。

- 管理対象システムの電源をオンにするために、以下の手順を実行します。
  - a) ナビゲーション領域で、「**リソース**」をクリックしてから「**すべてのシステム**」をクリックします。
  - b) 電源をオンにするシステムを選択します。
  - c) 内容ペインで、「**アクション**」 > 「**すべてのアクションの表示**」 > 「**電源オン**」をクリックします。
  - d) 「**完了**」をクリックします。
- 論理区画を活動化するには、以下のステップを実行します。
  - a) ナビゲーション領域で、「**リソース**」をクリックしてから、「**すべてのパーティション**」をクリックします。
  - b) 活動化する論理区画名をクリックします。
  - c) ナビゲーション領域で、「**パーティション・アクション**」 > 「**操作**」 > 「**活動化**」をクリックします。

- d) 「完了」をクリックします。
- 特定のシステムの論理区画を活動化するには、以下のステップを実行します。
  - a) ナビゲーション領域で、「リソース」をクリックしてから「すべてのシステム」をクリックします。
  - b) 活動化する論理区画があるシステムの名前をクリックします。
  - c) 活動化する論理区画を選択します。
  - d) 内容ペインで、「アクション」 > 「活動化」をクリックします。
  - e) 「完了」をクリックします。
- 論理区画開始ポリシーが「ユーザー開始」に設定されていることを確認するには、以下の手順を実行します。
  - a) ナビゲーション領域で、「リソース」をクリックしてから「すべてのシステム」をクリックします。
  - b) システム名をクリックして、詳細を表示します。
  - c) ナビゲーション領域で、「属性」 > 「その他の属性」をクリックします。
  - d) 「電源オン・パラメーター」タブをクリックします。
 「区画開始ポリシー」フィールドが「ユーザー開始」に設定されていることを確認します。

## システムの停止

システム・アップグレードまたはサービス・アクションの一環として、システムを停止する方法を説明します。



**重要:** コントロール・パネルの電源オン・ボタン、または Hardware Management Console (HMC) でのコマンド入力のいずれかでシステムを停止すると、データ・ファイルに予測不能なことが生じる可能性があります。システムを停止する前にすべてのアプリケーションが終了していないと、次にシステムを始動したとき、時間が長くなる場合があります。

## HMC によって管理されていないシステムの停止

別のタスクを行うためにシステムを停止することが必要になる場合があります。システムが Hardware Management Console (HMC) によって管理されていない場合は、電源ボタンまたは Advanced System Management Interface (ASMI) を使用して、以下の手順でシステムを停止してください。

システムの停止前に、以下のステップに従います。

1. すべてのジョブが完了して、すべてのアプリケーションを終了していることを確認します。
2. Virtual I/O Server (VIOS) 論理区画が稼働している場合は、すべてのクライアントがシャットダウンしていること、あるいはクライアントが代替方法で装置にアクセスできることを確認します。

## コントロール・パネルを使用したシステムの停止

別のタスクを行うためにシステムを停止することが必要になる場合があります。ご使用のシステムが Hardware Management Console (HMC) によって管理されていない場合は、このトピックに記載されている手順で、電源ボタンを使用してシステムを停止します。

1. **shutdown** コマンドまたは **pwrdwnsys** (システム電源遮断) コマンドの実行権限があるユーザーとしてホスト区画にログインします。
  2. コマンド行で、以下のコマンドの 1 つを入力する。
    - システムが AIX オペレーティング・システムを実行中の場合は、**shutdown** と入力します。
    - システムが Linux オペレーティング・システムを実行中の場合は、**shutdown -h now** と入力します。
    - ご使用のシステムが IBM I オペレーティング・システムを実行中の場合は、**PWRDWN SYS** と入力します。ご使用のシステムが区画に分割されている場合は、**PWRDWN SYS** コマンドを使用して、各 2 次区画の電源をオフにします。次に、**PWRDWN SYS** コマンドを使用して、1 次区画の電源をオフにします。
- コマンドによって、オペレーティング・システムが停止します。以下のオプションから選択します。

- ・システム電源がオフになり、パワーオン表示ライトがゆっくり明滅し始め、システムがスタンバイ状態になった場合、ステップ 36 ページの『5』に進みます。
  - ・最後の区画の電源がオフになったときにシステムの電源がオフにならない場合、ステップ 36 ページの『3』に進みます。
3. 必要であれば、ラックの前面ドアを開きます。
  4. コントロール・パネルの上部の電源ボタンを押したままにします。コントロール・パネルには、4 から 0 までのカウントダウンが表示されます。カウントダウンが完了したら、電源ボタンを放します。

システム電源がオフになり、パワーオン表示ライトがゆっくり明滅し始め、システムはスタンバイ状態になります。



図 29. コントロール・パネルの LED

5. コントロール・パネルの表示から IPL タイプと IPL モードを記録します。この情報は、取り付けまたは取り替え手順が完了したときにシステムをこの状態に戻すのに役立ちます。
6. システムに接続されているすべてのデバイスの電源スイッチをオフにします。

## ASMI を使用したシステムの停止

別のタスクを行うためにシステムを停止することが必要になる場合があります。システムが Hardware Management Console (HMC) によって管理されていない場合は、以下の手順に従い、Advanced System Management Interface (ASMI) を使用してシステムを停止します。

ご使用のシステムでは、2 つのバージョンの ASMI を使用できます。使用する ASMI のバージョンは、ご使用のマシンのタイプとモデルによって異なります。

### 9080-HEX

1. **shutdown** コマンドまたは **pwrdownsys** (システム電源遮断) コマンドの実行権限があるユーザーとしてホスト区画にログインします。
2. コマンド行で、以下のコマンドの 1 つを入力する。
  - ・システムが AIX オペレーティング・システムを実行中の場合は、**shutdown** と入力します。
  - ・システムが Linux オペレーティング・システムを実行中の場合は、**shutdown -h now** と入力します。
  - ・ご使用のシステムが IBM i オペレーティング・システムを実行中の場合は、**PWRDOWNSYS** と入力します。ご使用のシステムが区画に分割されている場合は、**PWRDOWNSYS** コマンドを使用して、各 2 次区画の電源をオフにします。次に、**PWRDOWNSYS** コマンドを使用して、1 次区画の電源をオフにします。

コマンドによって、オペレーティング・システムが停止します。以下のオプションから選択します。

- ・システム電源がオフになり、パワーオン表示ライトがゆっくり明滅し始め、システムがスタンバイ状態になった場合、ステップ 37 ページの『5』に進みます。
- ・最後の区画の電源がオフになったときにシステムの電源がオフにならない場合、ステップ 37 ページの『3』に進みます。

3. 「ASMI へようこそ」 ペインで、ご使用のユーザー ID とパスワードを入力して、「ログイン」をクリックします。
4. ナビゲーション領域で、「電源/再始動制御」 > 「システムの電源オン/オフ」をクリックします。システム電源設定が表示されます。
5. 必要に応じて設定を指定し、「設定を保管して電源オフ」をクリックします。システム電源がオフになり、パワーオン表示ライトがゆっくり明滅し始め、システムはスタンバイ状態になります。
6. システムに接続されているすべてのデバイスの電源スイッチをオフにします。

### その他のすべてのシステム

1. ASMI にログオンします。詳しくは、を参照してください。
2. ナビゲーション領域で、「操作 > サーバーの電源操作」をクリックします。システムの電源状態が表示されます。
3. 「サーバーのシャットダウン」で、以下のオプションから選択します。
  - 正常 - オペレーティング・システムはシャットダウンし、サーバーはシャットダウンします。
  - 即時 - オペレーティングシステムをシャットダウンせずにサーバーをシャットダウンします。データ破壊を引き起こす可能性があります。
4. 優先オプションを選択し、システムの電源がオフになるまで待ちます。

## HMC を使用したシステムの停止

Hardware Management Console (HMC) を使用して、システムまたは論理区画を停止することができます。

デフォルトで管理対象システムは、最後に稼働している論理区画をシャットダウンすると、自動的に電源オフの状態になります。管理対象システムが自動的に電源オフしないように、HMC で管理対象システムのプロパティを設定する場合は、この手順を使用して管理対象システムを電源オフする必要があります。



**重要:** 必ず、管理対象システムの実行中の論理区画をシャットダウンしてから、管理対象システムの電源をオフにしてください。最初に論理区画をシャットダウンせずに管理対象システムを電源オフすると、論理区画が異常にシャットダウンし、データ損失の原因になります。Virtual I/O Server (VIOS) 論理区画を使用している場合は、すべてのクライアントがシャットダウンしていること、あるいはクライアントが代替方法で装置にアクセスできることを確認します。

管理対象システムを電源オフするには、次のいずれかのロールのメンバーである必要があります。

- スーパー管理者
- サービス技術員
- 演算子
- プロダクト・エンジニア

**注:** プロダクト・エンジニアの場合は、お客様がアクティブ区画をすべてシャットダウンし、管理対象システムの電源をオフにしてあることを確認してください。必ず、サーバーの状況が「電源オフ」に変わってから、手順を続行してください。

1. アクティブなすべての論理区画をシャットダウンしてから、システムの電源をオフにする必要があります。特定のシステムの論理区画をシャットダウン化するには、以下の手順を実行します。
  - a) ナビゲーション領域で、「リソース」をクリックしてから「すべてのシステム」をクリックします。
  - b) 区画をシャットダウンするシステムの名前をクリックします。
  - c) シャットダウンする論理区画を選択します。
  - d) コンテンツ・ペインで、「アクション」 > 「シャットダウン」をクリックします。
  - e) 「完了」をクリックします。
2. システムの電源をオフにするには、以下の手順を実行します。
  - a) ナビゲーション領域で、「リソース」をクリックしてから「すべてのシステム」をクリックします。
  - b) 電源をオフにするシステムを選択します。



- c) 内容ペインで、「アクション」 > 「すべてのアクションの表示」 > 「電源オフ」をクリックします。
- d) 「完了」をクリックします。

## ESLS ストレージ・エンクロージャのコネクター位置

ESLS ストレージ・エンクロージャのコネクター位置について説明します。

注：T1 コネクターは使用されません。

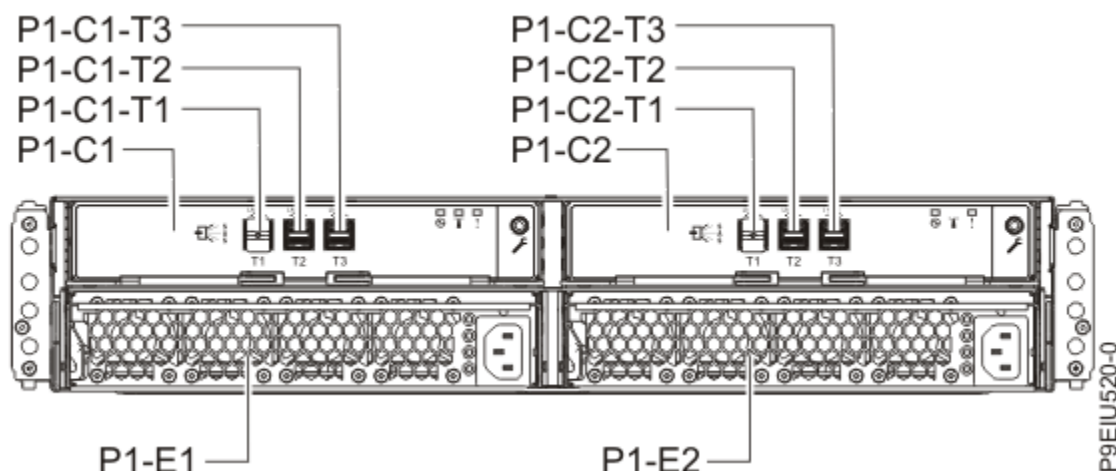


図 30. ESLS ストレージ・エンクロージャのコネクター位置

ESLS ストレージ・エンクロージャのロケーションについて詳しくは、ESLS ストレージ・エンクロージャロケーション ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10ecs/p10ecs\\_esll\\_esls\\_loccodes.htm](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10ecs/p10ecs_esll_esls_loccodes.htm)) を参照してください。

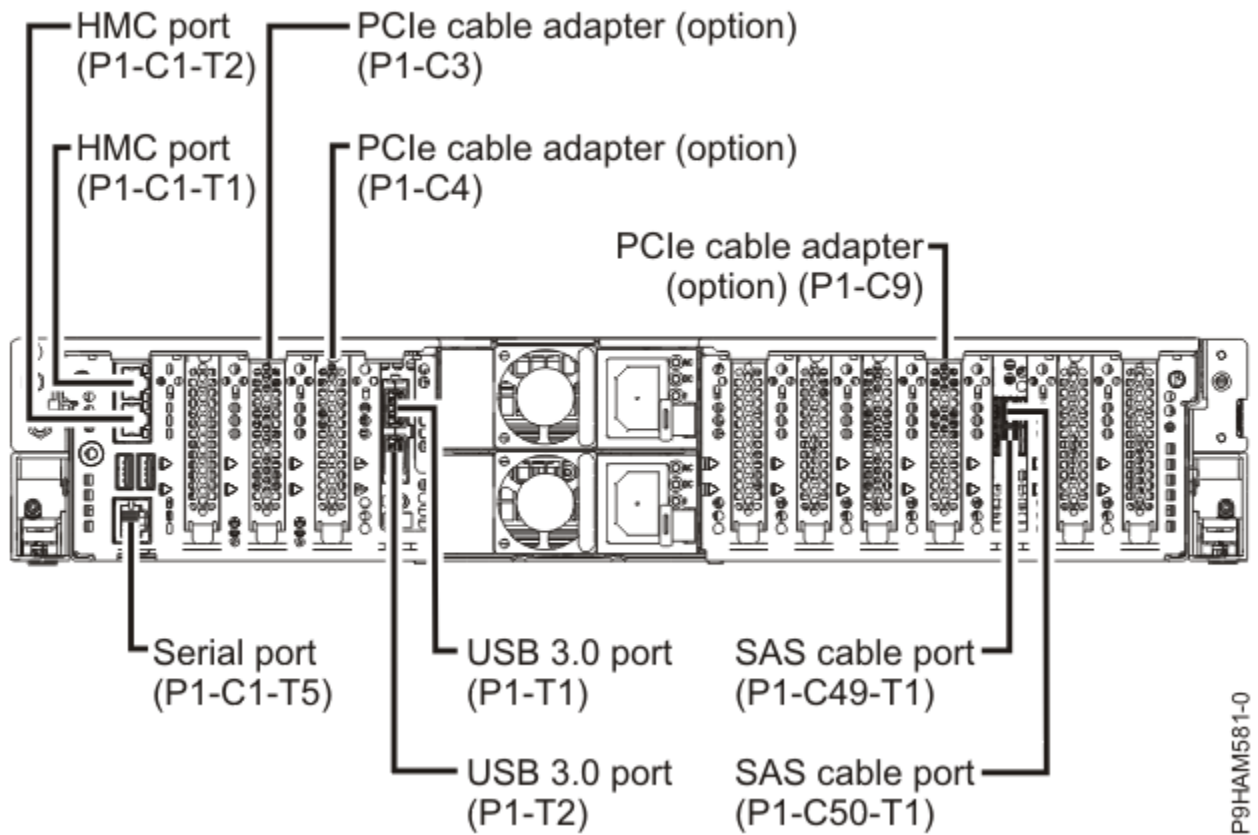
サーバーのロケーションについて詳しくは、部品のロケーションとロケーション・コード ([http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10ecs/p10ecs\\_locations.htm](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10ecs/p10ecs_locations.htm)) を参照してください。

## Power10 サーバーのコネクター位置

Power10 サーバーのコネクター位置を説明します。

### 9105-22A、9105-22B、および 9786-22H システムのコネクター位置

9105-22A、9105-22B、および 9786-22H システムのコネクター位置について説明します。



P9HAM581-0

図 31. 9105-22A、9105-22B、および 9786-22H システムのコネクター位置

### 9105-41B、9105-42A、および 9786-42H システムのコネクター位置

9105-41B、9105-42A、および 9786-42H システムのコネクター位置について説明します。



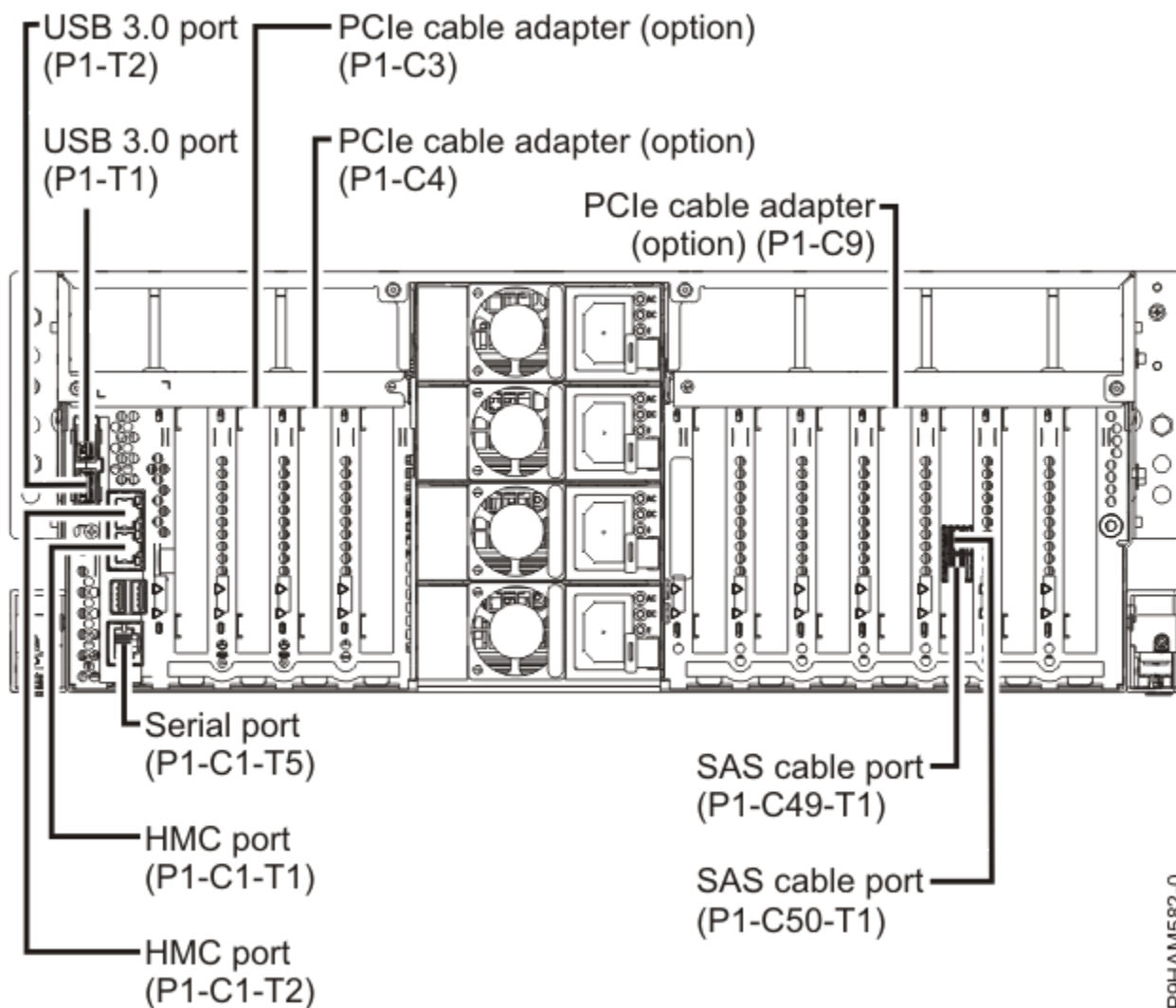


図 32. 9105-41B、9105-42A、および 9786-42H システムのコネクター位置

### 9043-MRX システムのコネクター位置

9043-MRX システムのコネクター位置について説明します。

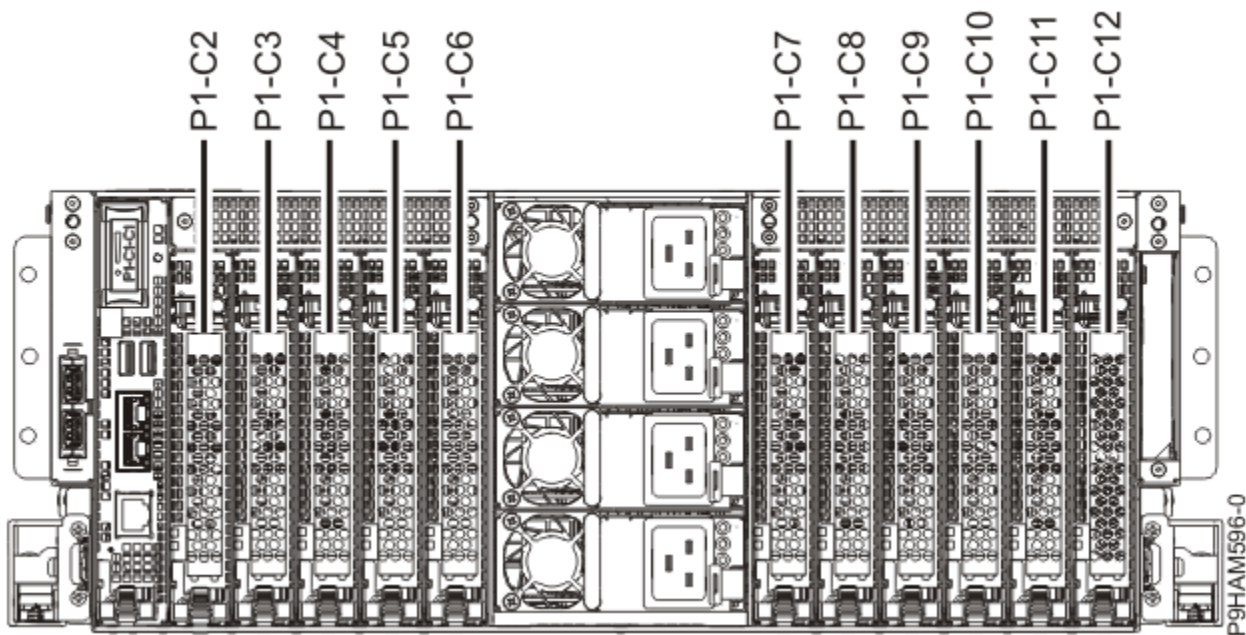


図 33. 9043-MRX システムの背面図

41 ページの表 1 は、内部 SAS ディスク・ドライブ・ベイを制御するために 9043-MRX システムに SAS RAID コントローラーを取り付ける際に必要なスロットを示しています。

表 1. 9043-MRX システムの SAS RAID コントローラー・スロット	
SAS RAID コントローラー	スロット
PCIe3 SAS RAID クワッド・ポート 6 Gb x8、ロー・プロファイル対応アダプター (FC EJ0K; CCIN 57B4)	P1-C12
PCIe3 SAS RAID クワッド・ポート 6 Gb x8、ロー・プロファイル対応アダプター (2 個の FC EJ0K; 2 個の CCIN 57B4)	P1-C9 および P1-C12
<b>注:</b> 内蔵 SAS ディスク・ドライブ・ベイの制御には、C9 スロットと C12 スロットが使用されます。これらのスロットには、5887 ディスク・ドライブ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーを接続する場合の使用可能性に制限があります。	

FC EJ0K について詳しくは、PCIe3 RAID SAS クワッド・ポート 6 Gb アダプター (FC EJ0K; CCIN 57B4) (<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/POWER10/p10hcd/fcej0k.htm>) を参照してください。

42 ページの表 2 は、9043-MRX システムで FC EJ0K アダプターを使用する場合のスロットの優先順位を示しています。

表 2. FC EJ0K のスロット優先順位					
フィーチャー・コード	説明	2 プロセッサの場合のスロット優先順位	3 プロセッサの場合のスロット優先順位	4 プロセッサの場合のスロット優先順位	サポートされるアダプターの最大数
EJ0K	PCIe3 SAS RAID クワッド・ポート 6 Gb x8、ロー・プロファイル対応アダプター (FC EJ0K; CCIN 57B4)	12, 9, 11, 8, 10, 7	12, 9, 11, 8, 5, 10, 7, 4	12, 9, 11, 8, 5, 3, 10, 7, 4, 2	6/8/10
注: 内蔵ディスク・ドライブ・ベイの制御には、C9 スロットと C12 スロットが使用されます。これらのスロットには、5887 ディスク・ドライブ・エンクロージャーまたは ESLS ストレージ・エンクロージャーを接続する場合の使用可能性に制限があります。					

42 ページの表 3 は、9043-MRX システムでの ケーブル・アダプターのスロットおよび優先順位を示しています。EMX0 PCIe Gen3 I/O 拡張ドロワー内の PCIe3 6 スロット・ファンアウト・モジュールにシステムを接続する場合は、ケーブル・アダプターが使用されます。

表 3. PCIe3 ケーブル・アダプターのスロットおよび優先順位					
フィーチャー・コード	説明	2 プロセッサの場合のスロット優先順位	3 プロセッサの場合のスロット優先順位	4 プロセッサの場合のスロット優先順位	サポートされるアダプターの最大数
EJ08	PCIe/光学式 CXP コンバーター・アダプター (FC EJ08; CCIN 2CE2) (アダプターの部品番号: 041T9901)	11, 8 10, 7	11, 8, 5, 10, 7, 4	11, 8, 5, 3, 10, 7, 4, 2	4/6/8

## 9080-HEX システムのコネクター位置

9080-HEX システムのコネクター位置について説明します。

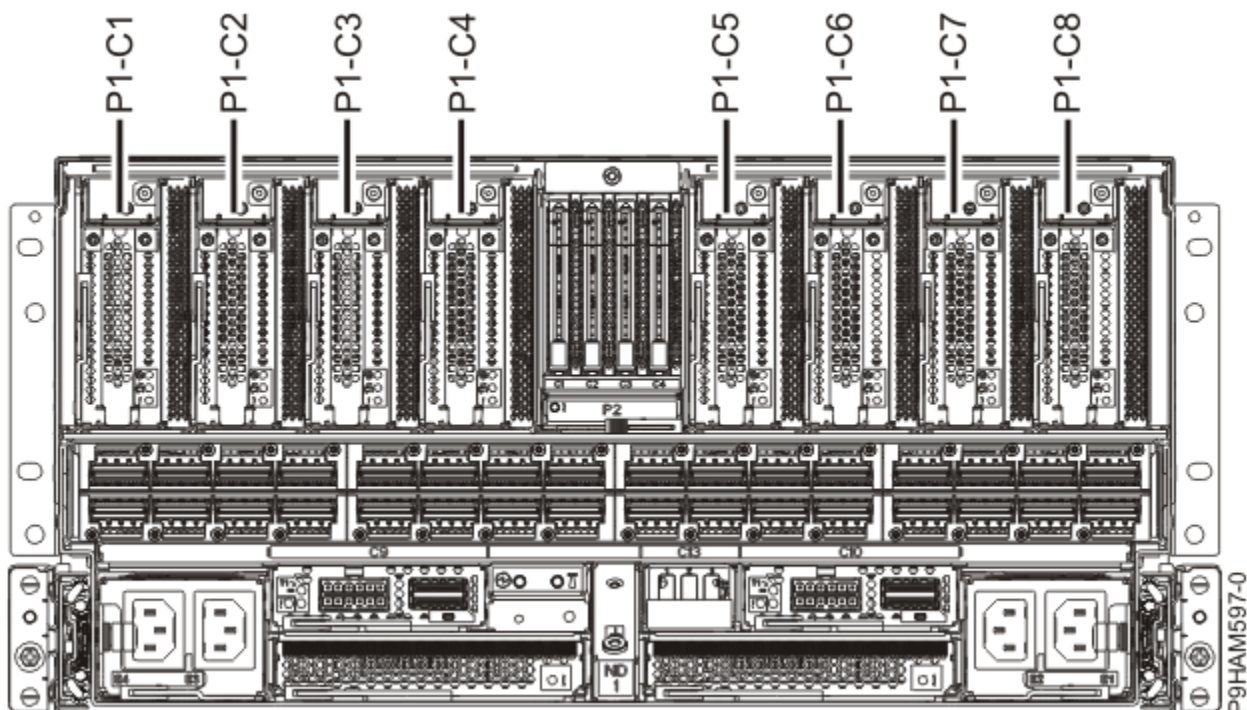


図 34. 9080-HEX システムの背面図

43 ページの表 4 は、9080-HEX システムへの SAS ハード・ディスク・ドライブ (HDD) およびソリッド・ステート・ドライブ (SSD) の接続をサポートする FC EJ0M アダプターおよび FC EJ14 アダプターのスロット優先順位を示しています。

フィーチャー・コード	説明	スロット優先順位	ノード最大
EJ0M	PCIe3 SAS RAID クワッド・ポート 6 Gb LP アダプター (FC EJ0M および FC EL3B; CCIN 57B4) (アダプターの部品番号: 000MH910)	2, 4, 6, 3, 5, 7, 1, 8	8
EJ14	PCIe3 12 GB キャッシュ RAID PLUS SAS アダプター・クワッド・ポート 6 Gb x8 (FC EJ14; CCIN 57B1) (アダプターの部品番号: 01DH742)	1, 3, 5, 7, 2, 4, 6, 8	8

43 ページの表 5 は、9080-HEX システムでの PCIe ケーブル・アダプターのスロットおよび優先順位を示しています。

フィーチャー・コード	説明	スロット優先順位	ノード最大
EJ07	PCIe3 拡張ドロワー用 PCIe3 ケーブル・アダプター (FC EJ07; CCIN 6B52) (アダプターの部品番号: 00TK704)	1, 7, 3, 5, 2, 8, 4, 6	8





# 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

IBM Corporation 日本アイ・ビー・エム株式会社 Armonk, NY 10504-1785 知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

本書に示されている図や仕様は、IBM の書面による許可を得ずにその一部または全部を複製してはなりません。

IBM は、示されている特定のマシンを対象として本書を作成しています。その他の使用および使用結果については、IBM は何ら保証責任を負いません。

IBM のコンピューター・システムには、破壊または損失したデータが検出されない危険性を減少するために設計されたメカニズムが含まれています。しかし、この危険性をゼロにすることはできません。不意の停電によるシステムの休止やシステム障害、電力の変動または停電、もしくはコンポーネント障害を経験するユーザーは、停電または障害が起きた時刻もしくはその近辺で行われたシステム操作とセーブまたは転送されたデータの正確性を検証する必要があります。さらに、ユーザーはそのような不安定で危機的な状況で操作されたデータを信頼する前に、独自のデータ検証手順を確立する必要があります。ユーザーはシステムおよび関連ソフトウェアに適用できる更新情報または修正がないか、定期的に IBM の Web サイトをチェックする必要があります。

## 通信規制の注記

本製品は、電気通信事業者の通信回線との責任分界点への、直接的な接続を想定した認定取得作業を行っていません。そのような接続を行うには、電気通信事業者による事前検査等が必要となる場合があります。ご不明な点については、IBM 担当員または販売店にお問い合わせください。

## IBM Power サーバーのアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能は、運動や視覚などに障害を持つユーザーが情報技術製品を快適に使用できるように支援します。

### 概説

IBM Power サーバーには、次の主なアクセシビリティ機能が組み込まれています。

- キーボードのみを使用する操作
- スクリーン・リーダーを使用する操作

IBM Power サーバーでは、[ICT Accessibility 508 Standards and 255 Guidelines \(https://www.access-board.gov/ict/\)](https://www.access-board.gov/ict/) および [Web Content Accessibility Guidelines \(WCAG\) 2.0 \(www.w3.org/TR/WCAG20/\)](http://www.w3.org/TR/WCAG20/) に準拠するように、最新の W3C 標準、[WAI-ARIA 1.0 \(www.w3.org/TR/wai-aria/\)](http://www.w3.org/TR/wai-aria/) が使用されています。アクセシビリティ機能を利用するためには、最新リリースのスクリーン・リーダーに加えて、IBM Power サーバーでサポートされている最新の Web ブラウザーを使用してください。

IBM 資料に用意されている IBM Power サーバーのオンライン製品資料は、アクセシビリティに対応しています。アクセシビリティに対する IBM の取り組みについて詳しくは、[IBM Accessibility \(https://www.ibm.com/able/\)](https://www.ibm.com/able/) を参照してください。

### キーボード・ナビゲーション

この製品では、標準ナビゲーション・キーが使用されています。

### インターフェースに関する情報

IBM Power サーバーの Web ユーザー・インターフェースには、1 秒当たり 2 回から 55 回明滅するコンテンツはありません。

IBM Power サーバーの Web ユーザー・インターフェースは、コンテンツの適切なレンダリング、および使用可能なエクスペリエンスの提供を、カスケード・スタイル・シートに依存しています。アプリケーションは、視覚障害者が、ハイコントラスト・モードを含め、システム表示形式の設定を使用するために同等の仕組みを提供します。フォント・サイズの制御は、デバイスまたは Web ブラウザーの設定を使用して行うことができます。

IBM Power サーバーの Web ユーザー・インターフェースには、アプリケーションの機能領域に迅速にナビゲートできる WAI-ARIA ナビゲーション・ランドマークが組み込まれています。



## ベンダー・ソフトウェア

IBM Power サーバーには、IBM の使用許諾契約書の適用外である特定のベンダー・ソフトウェアが組み込まれています。IBM では、それら製品のアクセシビリティ機能については、何ら保証責任を負いません。ベンダーの製品に関するアクセシビリティ情報については、該当のベンダーにお問い合わせください。

## 関連アクセシビリティ情報

標準の IBM ヘルプ・デスクおよびサポートの各 Web サイトに加え、IBM では、聴覚障害を持つユーザーまたは聴覚機能が低下しているユーザーが販売サービスやサポート・サービスにアクセスするのに使用できる TTY 電話サービスを用意しています。

TTY サービス 800-IBM-3383 (800-426-3383)  
(北アメリカ内)

アクセシビリティに対する IBM の取り組みについて詳しくは、[IBM アクセシビリティ \(www.ibm.com/able\)](http://www.ibm.com/able) を参照してください。

## プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie をはじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、<http://www.ibm.com/privacy> IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』（<http://www.ibm.com/privacy/detailsjp/ja/>）の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』（<http://www.ibm.com/software/info/product-Privacy>）を参照してください。

## 商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com)® は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。世界中の多くの国で登録されています。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、Web 上で「[Copyright and trademark information](#)」をご覧ください。

登録商標 Linux は、世界中で商標の所有者である Linux Torvalds の独占的ライセンシーである Linux Foundation のサブライセンスに従って使用されています。

Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

## 電波障害自主規制特記事項

モニターを装置に取り付ける場合は、モニターと一緒に提供された指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

## クラス A 表示

以下のクラス A 表示は、Power10 プロセッサを搭載した IBM サーバーおよびそのフィーチャーに適用されます。ただし、フィーチャー情報で電磁適合性 (EMC) クラス B として指定されている場合は除きます。

モニターを装置に取り付ける場合は、モニターと一緒に提供された指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

以下のクラス A 表示はサーバーに適用されます。

### Canada Notice

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

### European Community and Morocco Notice

This product is in conformity with the protection requirements of Directive 2014/30/EU of the European Parliament and of the Council on the harmonization of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

This product may cause interference if used in residential areas. Such use must be avoided unless the user takes special measures to reduce electromagnetic emissions to prevent interference to the reception of radio and television broadcasts.

Warning: This equipment is compliant with Class A of CISPR 32. In a residential environment this equipment may cause radio interference.

### Germany Notice

#### Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2014/30/EU zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 / EN 55032 Klasse A ein.

<!--Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. --> Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung von IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung von IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55032 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden:

"Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen."

#### Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

--><!--Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". --> Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2014/30/EU in der Bundesrepublik Deutschland.

#### Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC Richtlinie 2014/30/EU) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

<!--Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:-->

登録商標です。

日本アイ・ビー・エム株式会社

<!--Armonk, New York 10504-->  
Tel: 914-499-1900

<!--Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:-->  
IBM Deutschland GmbH  
Technical Relations Europe, Abteilung M456  
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany  
Tel: +49 (0) 800 225 5426  
email: HalloIBM@de.ibm.com

Generelle Informationen:

**Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 / EN 55032 Klasse A.**

#### 一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) の特記事項

(一社) 電子情報技術産業協会 高調波電流抑制対策実施  
要領に基づく定格入力電力値 : IBM Documentationの各製品  
の仕様ページ参照

この表示は、20 A/相以下の製品に適用されます。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

この表示は、20 A/相 (单相) を超える製品に適用されます。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 準用品

本装置は、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」対象機器 (高調波発生機器) です。

- ・回路分類 : 6 (单相、P F C回路付)
- ・換算係数 : 0

この表示は、20 A/相 (3 相) を超える製品に適用されます。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 準用品

本装置は、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」対象機器 (高調波発生機器) です。

- ・回路分類 : 5 (3 相、P F C回路付)
- ・換算係数 : 0

#### 一般財団法人 VCCI 協会 (VCCI) の特記事項

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

### Korea Notice

이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

### People's Republic of China Notice

#### 警 告

此为 A 级产品, 在生活环境  
中, 该产品可能会造成无线电干  
扰  
在这种情况下, 可能需要用户对  
其干扰采取切实可行的措施

### Russia Notice

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.  
В жилых помещениях оно может создавать  
радиопомехи, для снижения которых необходимы  
дополнительные меры

### Taiwan Notice

#### CNS 13438:

警告使用者：  
此為甲類資訊技術設備，  
於居住環境中使用時，可  
能會造成射頻擾動，在此  
種情況下，使用者會被要  
求採取某些適當的對策。

#### CNS 15936:

警告：為避免電磁干擾，本產品不應安裝或使用於住宅環境。

#### IBM Taiwan Contact Information:

台灣IBM 產品服務聯絡方式：  
台灣國際商業機器股份有限公司  
台北市松仁路7號3樓  
電話：0800-016-888

### United States Federal Communications Commission (FCC) Notice

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the

instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

FCC の放射制限を満たすためには、適正にシールドされたアース付きのケーブルとコネクタを使用する必要があります。Proper cables and connectors are available from IBM-authorized dealers. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

<!--This

device complies with Part 15 of the FCC rules.--> Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party:

IBM

日本アイ・ビー・エム株式会社

日本アイ・ビー・エム株式会社

Contact for FCC compliance information only: [fccinfo@us.ibm.com](mailto:fccinfo@us.ibm.com)

## United Kingdom Notice

This product may cause interference if used in residential areas. Such use must be avoided unless the user takes special measures to reduce electromagnetic emissions to prevent interference to the reception of radio and television broadcasts.

## クラス B 表示

以下のクラス B 表示は、フィーチャー取り付け情報で電磁適合性 (EMC) クラス B として指定されているフィーチャーに適用されます。

モニターを装置に取り付ける場合は、モニターと一緒に提供された指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

## Canada Notice

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

## European Community and Morocco Notice

This product is in conformity with the protection requirements of Directive 2014/30/EU of the European Parliament and of the Council on the harmonization of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

## German Notice

### Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse B EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2014/30/EU zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022/ EN 55032 Klasse B ein.

<!--Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. --> Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne

Zustimmung von IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung von IBM gesteckt/eingebaut werden.

#### **Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten**

--><!--Dieses Produkt entspricht dem “Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)“. --> Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2014/30/EU in der Bundesrepublik Deutschland.

#### **Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC Richtlinie 2014/30/EU) für Geräte der Klasse B**

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

<!--Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:-->

登録商標です。

日本アイ・ビー・エム株式会社

<!--Armonk, New York 10504-->

Tel: 914-499-1900

<!--Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:-->

IBM Deutschland GmbH

Technical Relations Europe, Abteilung M456

IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany

Tel: +49 (0) 800 225 5426

email: HalloIBM@de.ibm.com

Generelle Informationen:

#### **Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55032 Klasse B**

#### **一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) の特記事項**

(一社) 電子情報技術産業協会 高調波電流抑制対策実施  
要領に基づく定格入力電力値 : IBM Documentationの各製品  
の仕様ページ参照

この表示は、20 A/相以下の製品に適用されます。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

この表示は、20 A/相 (単相) を超える製品に適用されます。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 準用品

本装置は、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」対象機器 (高調波発生機器) です。

- 回路分類 : 6 (単相、P F C回路付)
- 換算係数 : 0

この表示は、20 A/相 (3 相) を超える製品に適用されます。



## 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 準用品

本装置は、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」対象機器（高調波発生機器）です。

- 回路分類 : 5 (3相、PFC回路付)
- 換算係数 : 0

### 一般財団法人 VCCI 協会 (VCCI) の特記事項

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

### Taiwan Notice

台灣IBM 產品服務聯絡方式：  
台灣國際商業機器股份有限公司  
台北市松仁路7號3樓  
電話：0800-016-888

### United States Federal Communications Commission (FCC) Notice

<!--This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.--> <!--These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.--> <!--This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.--> <!--However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.--> <!--If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:-->

- <!--Reorient or relocate the receiving antenna.-->
- <!--Increase the separation between the equipment and receiver.-->
- <!--Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.-->
- Consult an IBM-authorized dealer or service representative for help.

FCC の放射制限を満たすためには、適正にシールドされたアース付きのケーブルとコネクタを使用する必要があります。Proper cables and connectors are available from IBM-authorized dealers. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

<!--This device complies with Part 15 of the FCC rules.--> Operation is subject to the following two conditions:

(1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Responsible Party:

IBM  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
<!--Armonk, New York 10504-->  
Contact for FCC compliance information only: fccinfo@us.ibm.com

## 使用条件

---

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

**適用可能性:** このご使用条件は、IBM Web サイトのすべてのご利用条件に追加して適用されます。

**個人使用:** これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

**商業的使用:** これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

**権利:** ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入 関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。





(4L) Origin: MX



Printed in Mexico

(1P) P/N: 03KG327

